

生涯学習に関する市民アンケート
調査報告書

平成 29 年 4 月

ふじみ野市 市民生活部協働推進課

<目次>

【アンケート結果】	1
I 調査の概要	3
【基本集計結果】	5
I 市民アンケート	7
(1) 属性	7
(2) 生活について	11
(3) 生涯学習について	13
(4) 地域活動について	24
II 団体アンケート	47

【アンケート結果】

I 調査の概要

(1) 調査の種類等

	市民アンケート	団体アンケート
調査の目的	「ふじみ野市生きがい学習推進計画（平成 30 年度～平成 35 年度）」の策定に向け、市民の生涯学習への意識と関心度などを把握するため。	
調査対象者	ふじみ野市に住民登録のある満 18 歳以上の方を対象とし、2,000 人について無作為抽出を行った。	自治組織や P T A、市内で活動する市民団体を対象に調査依頼を行った。
調査方法	対象者へ郵送配布・郵送回収	自治組織や P T A には郵送配布・郵送回収を行い、その他市民団体には公共施設利用の際に調査票の配布及び回収箱による回収を実施。
実施期間	平成 29 年 3 月 3 日（金） ～3 月 17 日（金）	平成 29 年 2 月 28 日（火）～ 3 月 29 日（水）

(2) 回収状況

①市民アンケート

対象	配布数	有効回収数	有効回収率
18 歳以上の男女市民	2,000	982	49.1%

②団体アンケート

対象	配布数	回収数	回収率
自治組織・P T A・市内活動団体	355	175	49.3%

(3) 報告書を見る際の注意事項

- 調査結果の比率は、その設問の回答者数を基数として、小数点以下第 2 位を四捨五入して算出し、小数点第 1 位までを表示しています。したがって、回答者比率の合計は必ずしも 100%にならない場合があります。
- 複数回答形式の設問については、その設問の回答者数を基数として比率を算出しています。したがって、回答比率の合計は 100%を超えることがあります。
- 選択肢の語句が長い場合、本文や図表中では省略した表現を用いている場合があります。

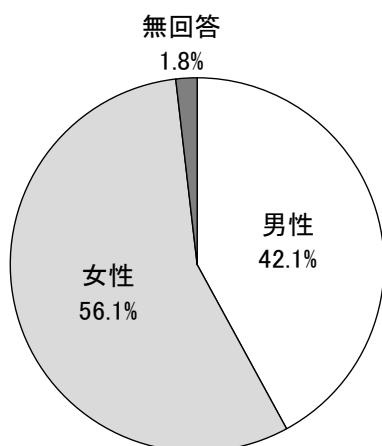
【基本集計結果】

I 市民アンケート

(1) 属性

A あなたの性別を教えてください。

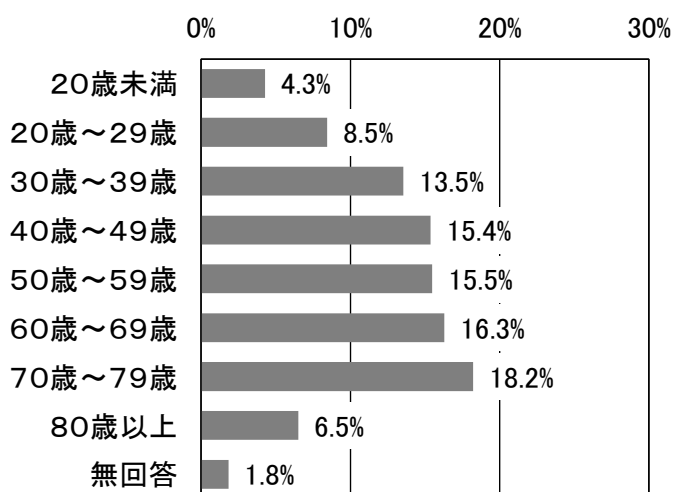
性別については、「男性」が42.1%、「女性」が56.1%と「女性」の回答者の方が高くなっています。



項目	度数	構成比
男性	413	42.1%
女性	551	56.1%
無回答	18	1.8%
合計	982	100.0%

B あなたの年齢を教えてください。

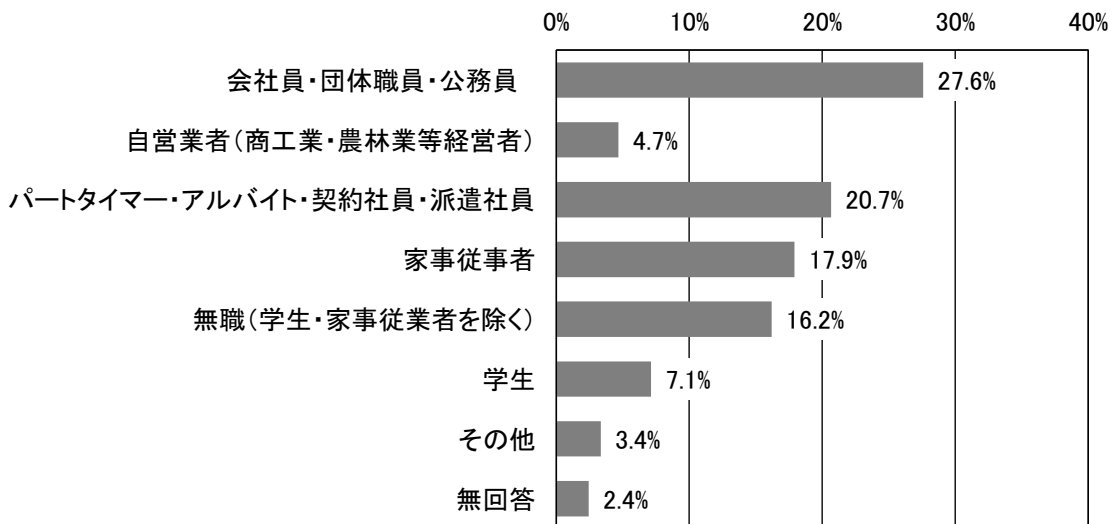
年齢については、「70歳～79歳」が18.2%と最も高く、次いで「60歳～69歳」が16.3%、「50歳～59歳」が15.5%、「40歳～49歳」が15.4%となっています。



項目	度数	構成比
20歳未満	42	4.3%
20歳～29歳	83	8.5%
30歳～39歳	133	13.5%
40歳～49歳	151	15.4%
50歳～59歳	152	15.5%
60歳～69歳	160	16.3%
70歳～79歳	179	18.2%
80歳以上	64	6.5%
無回答	18	1.8%
合計	982	100.0%

C あなたの職業を教えてください。(主なもの1つに○)

職業については、「会社員・団体職員・公務員」が27.6%と最も高く、次いで「パートタイマー・アルバイト・契約社員・派遣社員」が20.7%、「家事従事者」が17.9%となっています。

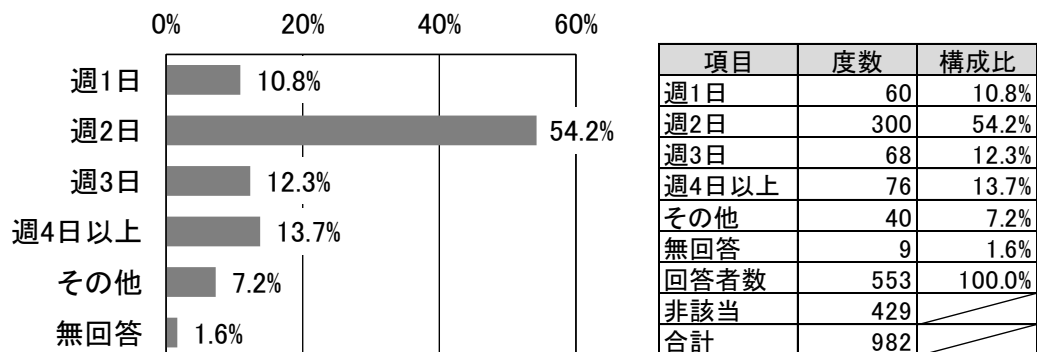


項目	度数	構成比
会社員・団体職員・公務員	271	27.6%
自営業者(商工業・農林業等経営者)	46	4.7%
パートタイマー・アルバイト・契約社員・派遣社員	203	20.7%
家事従事者	176	17.9%
無職(学生・家事従業者を除く)	159	16.2%
学生	70	7.1%
その他	33	3.4%
無回答	24	2.4%
合計	982	100.0%

(現在働いている方のみにおたずねします。)

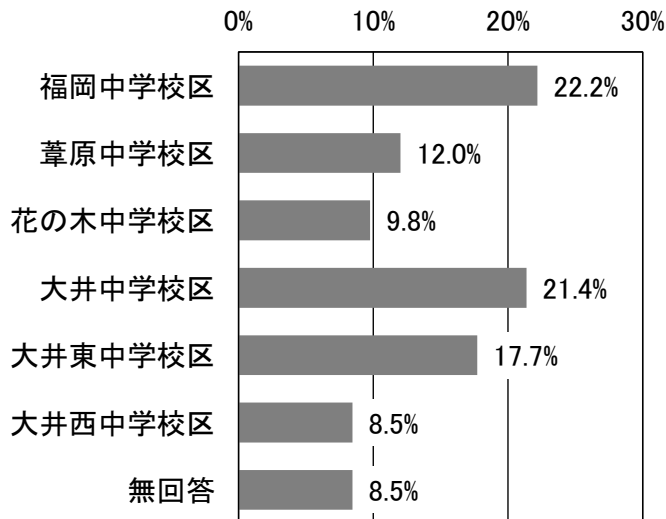
D あなたの週休日を教えてください。(1つに○)

週休日については、「週2日」が54.2%と最も高く、次いで「週4日以上」が13.7%、「週3日」が12.3%となっています。



E あなたは、いずれの中学校区にお住まいですか。(1つに○)

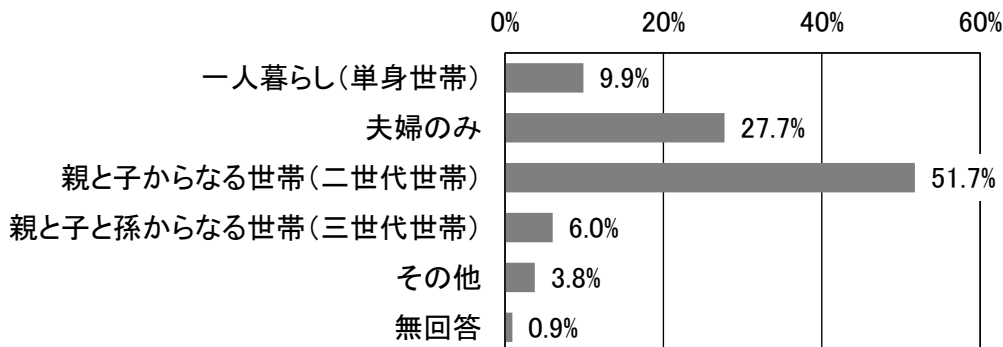
居住地区については、「福岡中学校区」が22.2%と最も高く、次いで「大井中学校区」が21.4%、「大井東中学校区」が17.7%となっています。



項目	度数	構成比
福岡中学校区	218	22.2%
葦原中学校区	118	12.0%
花の木中学校区	96	9.8%
大井中学校区	210	21.4%
大井東中学校区	174	17.7%
大井西中学校区	83	8.5%
無回答	83	8.5%
合計	982	100.0%

F あなたの家族構成は、次のうちどれですか。(1つに○)

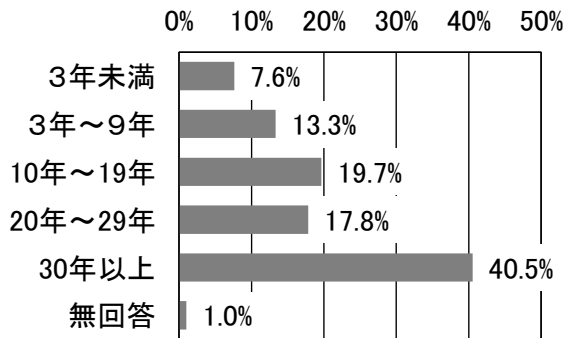
家族構成については、「親と子からなる世帯(二世帯世帯)」が51.7%と最も高く、次いで「夫婦のみ」が27.7%、「一人暮らし(単身世帯)」が9.9%となっています。



項目	度数	構成比
一人暮らし(単身世帯)	97	9.9%
夫婦のみ	272	27.7%
親と子からなる世帯(二世帯世帯)	508	51.7%
親と子と孫からなる世帯(三世帯世帯)	59	6.0%
その他	37	3.8%
無回答	9	0.9%
合計	982	100.0%

G あなたはふじみ野市(合併前の旧上福岡市・旧大井町を含めて)に何年住んでいますか。(通算でお答えください)

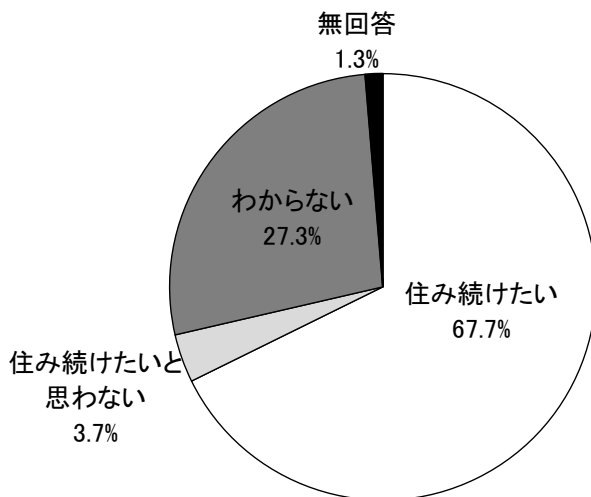
ふじみ野市の居住年数については、「30年以上」が40.5%と最も高く、次いで「10年～19年」が19.7%、「20年～29年」が17.8%となっています。



項目	度数	構成比
3年未満	75	7.6%
3年～9年	131	13.3%
10年～19年	193	19.7%
20年～29年	175	17.8%
30年以上	398	40.5%
無回答	10	1.0%
合計	982	100.0%

H あなたはこれからもふじみ野市に住みつづけたいと思いますか。(1つに○)

今後のふじみ野市での居住希望については、「住み続けたい」が67.7%、「住み続けたいと思わない」が3.7%、「わからない」が27.3%となっています。

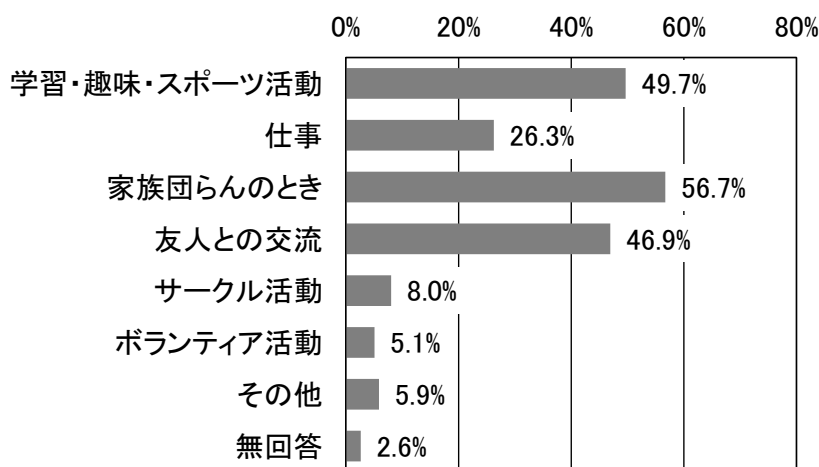


項目	度数	構成比
住み続けたい	665	67.7%
住み続けたいと思わない	36	3.7%
わからない	268	27.3%
無回答	13	1.3%
合計	982	100.0%

(2) 生活について

問1 日ごろの生活の中で幸せや生きがいを感じるのはどんなときですか。
(あてはまるものすべてに○)

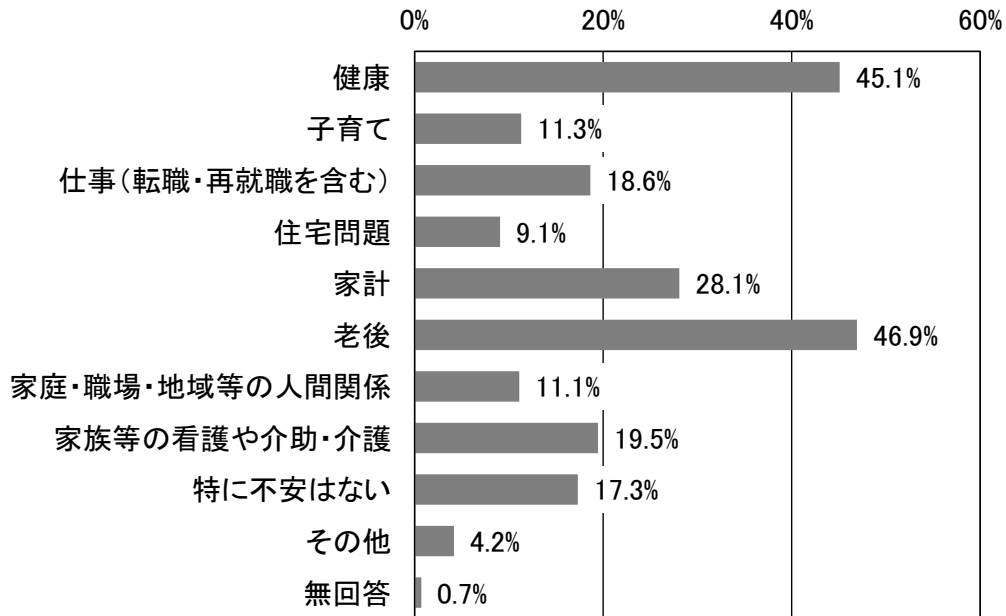
生活の中で幸せや生きがいを感じるのときには、「家族団らんのとき」が56.7%と最も高く、次いで「学習・趣味・スポーツ活動」が49.7%、「友人との交流」が46.9%となっています。



項目	度数	構成比
学習・趣味・スポーツ活動	488	49.7%
仕事	258	26.3%
家族団らんのとき	557	56.7%
友人との交流	461	46.9%
サークル活動	79	8.0%
ボランティア活動	50	5.1%
その他	58	5.9%
無回答	26	2.6%
回答者数	982	

問2 今、あなたの悩みや不安なことは何ですか。(あてはまるものすべてに○)

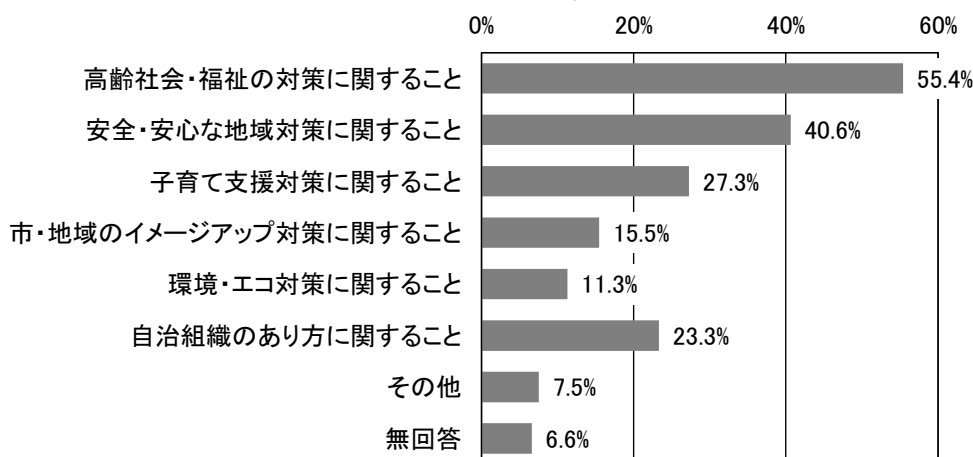
今の悩みや不安については、「老後」が46.9%と最も高く、次いで「健康」が45.1%、「家計」が28.1%となっています。



項目	度数	構成比
健康	443	45.1%
子育て	111	11.3%
仕事(転職・再就職を含む)	183	18.6%
住宅問題	89	9.1%
家計	276	28.1%
老後	461	46.9%
家庭・職場・地域等の人間関係	109	11.1%
家族等の看護や介助・介護	191	19.5%
特に不安はない	170	17.3%
その他	41	4.2%
無回答	7	0.7%
回答者数	982	

問3 あなたは、地域にどのような課題があると思いますか。
(あてはまるものすべてに○)

地域の課題については、「高齢社会・福祉の対策に関すること」が55.4%と最も高く、次いで「安全・安心な地域対策に関すること」が40.6%、「子育て支援対策に関すること」が27.3%となっています。



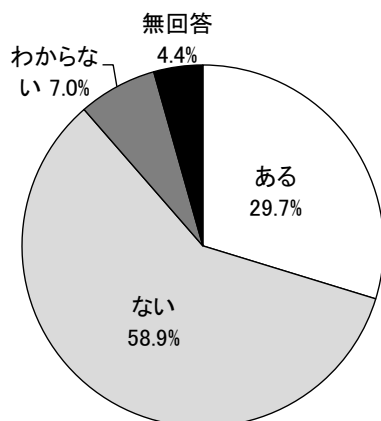
項目	度数	構成比
高齢社会・福祉の対策に関すること(高齢者及び障がい者・健康増進策など)	544	55.4%
安全・安心な地域対策に関すること(防災・防犯対策など)	399	40.6%
子育て支援対策に関すること	268	27.3%
市・地域のイメージアップ対策に関すること(自然・景観・文化財など)	152	15.5%
環境・エコ対策に関すること(資源対策など)	111	11.3%
自治組織(町会・自治会・町内会)のあり方に関すること(地域コミュニティなど)	229	23.3%
その他	74	7.5%
無回答	65	6.6%
回答者数	982	

(3) 生涯学習について

【すべての方におうかがいします。】

問4 あなたは、この3年の間に生涯学習活動に取り組んだことがありますか。

この3年間の生涯学習活動については、取り組んだことが「ある」が29.7%、「ない」が58.9%、「わからない」が7.0%となっています。

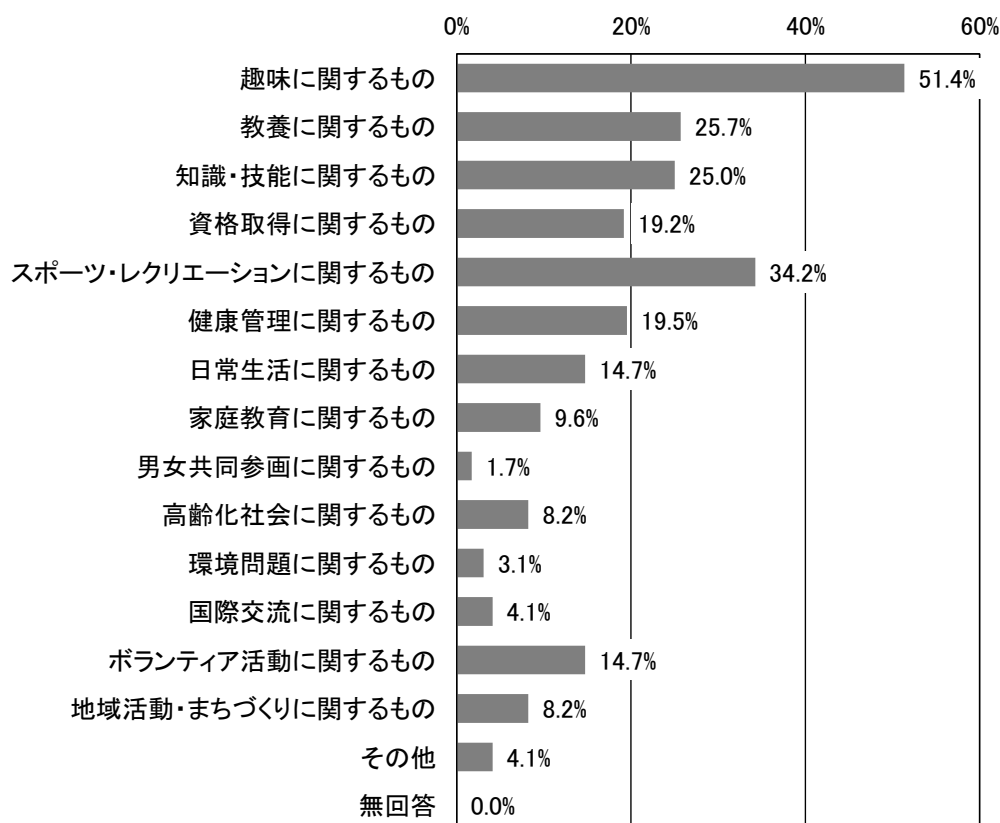


項目	度数	構成比
ある	292	29.7%
ない	578	58.9%
わからない	69	7.0%
無回答	43	4.4%
合計	982	100.0%

【問4で「1. ある」を選んだ人におたずねします。】

問4-(1) 現在、あなたが取り組んでいる生涯学習の内容を教えてください。
(あてはまるものすべてに○)

現在取り組んでいる生涯学習の内容については、「趣味に関するもの」が51.4%と最も高く、次いで「スポーツ・レクリエーションに関するもの」が34.2%、「教養に関するもの」が25.7%となっています。

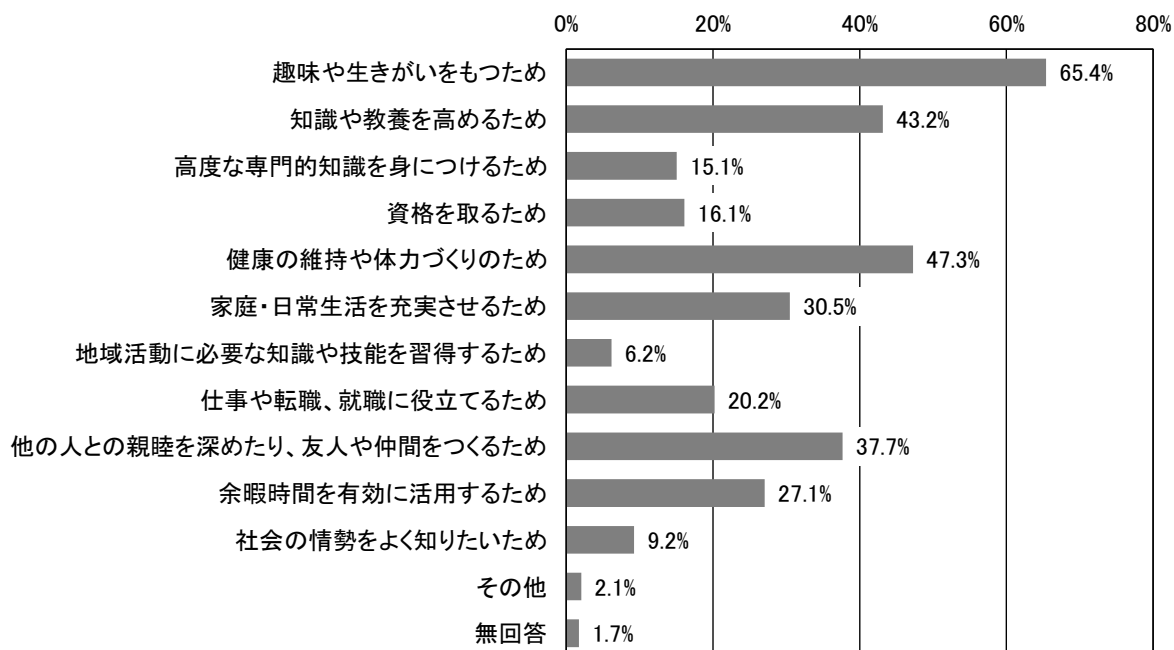


項目	度数	構成比
趣味に関するもの(音楽、美術、華道、舞踏など)	150	51.4%
教養に関するもの(文学、歴史、語学など)	75	25.7%
知識・技能に関するもの(インターネット、パソコンなど)	73	25.0%
資格取得に関するもの	56	19.2%
スポーツ・レクリエーションに関するもの	100	34.2%
健康管理に関するもの(健康法、医学など)	57	19.5%
日常生活に関するもの(料理、手芸など)	43	14.7%
家庭教育に関するもの(育児、子どものしつけなど)	28	9.6%
男女共同参画に関するもの	5	1.7%
高齢化社会に関するもの(高齢福祉、介護など)	24	8.2%
環境問題に関するもの(リサイクルなど)	9	3.1%
国際交流に関するもの(文化、風俗・慣習など)	12	4.1%
ボランティア活動に関するもの	43	14.7%
地域活動・まちづくりに関するもの	24	8.2%
その他	12	4.1%
無回答	0	0.0%
回答者数	292	
非該当	690	
合計	982	

問4-(2) あなたが、生涯学習に取り組む目的を教えてください。

(あてはまるものすべてに○)

生涯学習に取り組む目的については、「趣味や生きがいをもつため」が 65.4%と最も高く、次いで「健康の維持や体力づくりのため」が 47.3%、「知識や教養を高めるため」が 43.2%となっています。

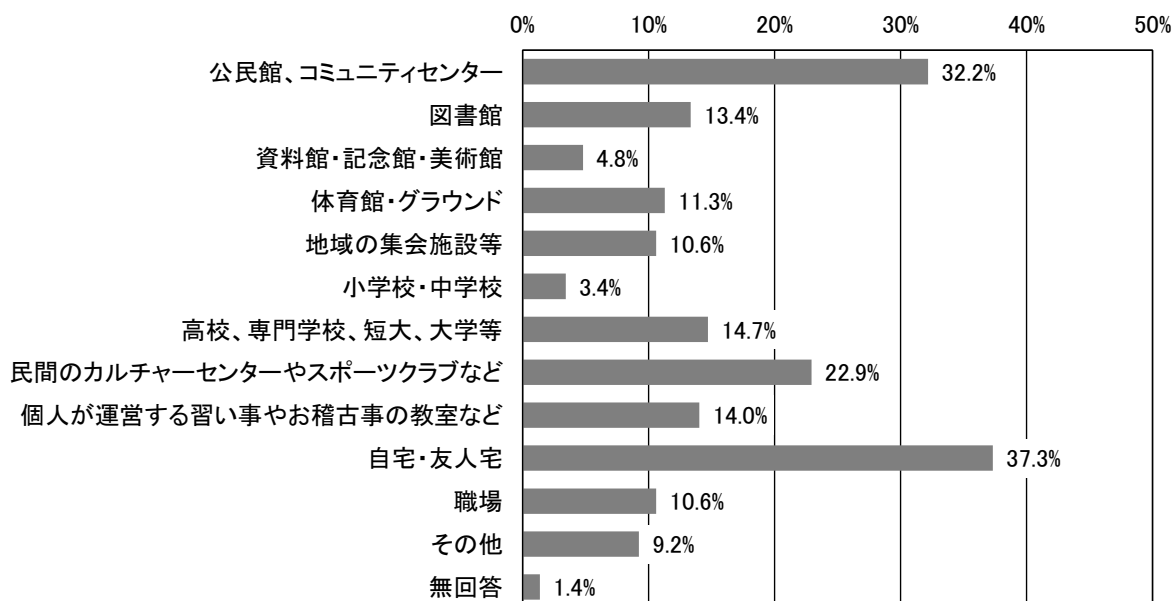


項目	度数	構成比
趣味や生きがいをもつため	191	65.4%
知識や教養を高めるため	126	43.2%
高度な専門的知識を身につけるため	44	15.1%
資格を取るため	47	16.1%
健康の維持や体力づくりのため	138	47.3%
家庭・日常生活を充実させるため	89	30.5%
地域活動に必要な知識や技能を習得するため	18	6.2%
仕事や転職、就職に役立てるため	59	20.2%
他の人との親睦を深めたり、友人や仲間をつくるため	110	37.7%
余暇時間を有効に活用するため	79	27.1%
社会の情勢をよく知りたいため	27	9.2%
その他	6	2.1%
無回答	5	1.7%
回答者数	292	
非該当	690	
合計	982	

問4-(3) あなたは、生涯学習活動をどこで行っていますか。

(あてはまるものすべてに○)

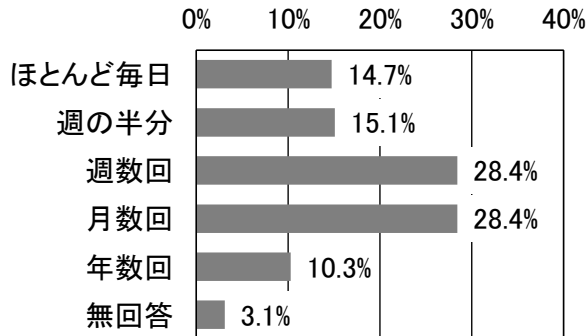
生涯学習を行っている場所については、「自宅・友人宅」が 37.3%と最も高く、次いで「公民館、コミュニティセンター」が 32.2%、「民間のカルチャーセンターやスポーツクラブなど」が 22.9%となっています。



項目	度数	構成比
公民館、コミュニティセンター	94	32.2%
図書館	39	13.4%
資料館・記念館・美術館	14	4.8%
体育館・グラウンド	33	11.3%
地域の集会施設等	31	10.6%
小学校・中学校	10	3.4%
高校、専門学校、短大、大学等	43	14.7%
民間のカルチャーセンターやスポーツクラブなど	67	22.9%
個人が運営する習い事やお稽古事の教室など	41	14.0%
自宅・友人宅	109	37.3%
職場	31	10.6%
その他	27	9.2%
無回答	4	1.4%
回答者数	292	
非該当	690	
合計	982	

問4-(4) あなたは、どのくらいの頻度で生涯学習に取り組んでいますか。
(1つに○)

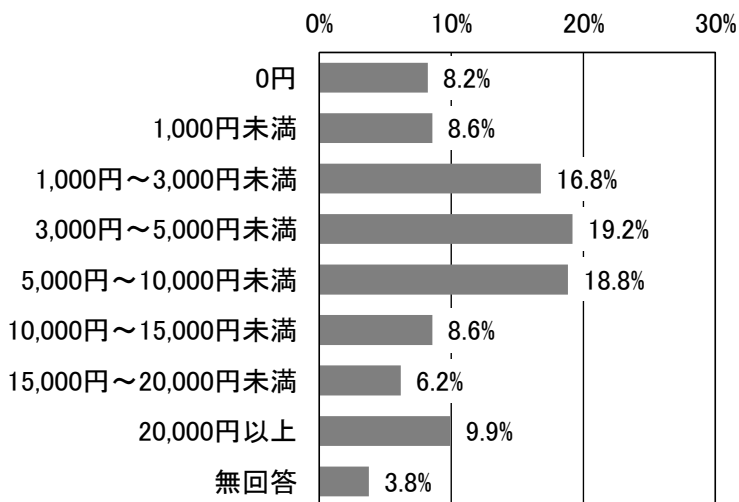
生涯学習に取り組む頻度については、「週数回」、「月数回」がともに 28.4%と最も高く、次いで「週の半分」が 15.1%、「ほとんど毎日」が 14.7%となっています。



項目	度数	構成比
ほとんど毎日	43	14.7%
週の半分	44	15.1%
週数回	83	28.4%
月数回	83	28.4%
年数回	30	10.3%
無回答	9	3.1%
合計	292	100.0%
非該当	690	
合計	982	

問4-(5) あなたが取り組む生涯学習に、1ヵ月あたりいくら費用(いくつかの活動している方は、その合計額)をかけていますか。(1つに○)

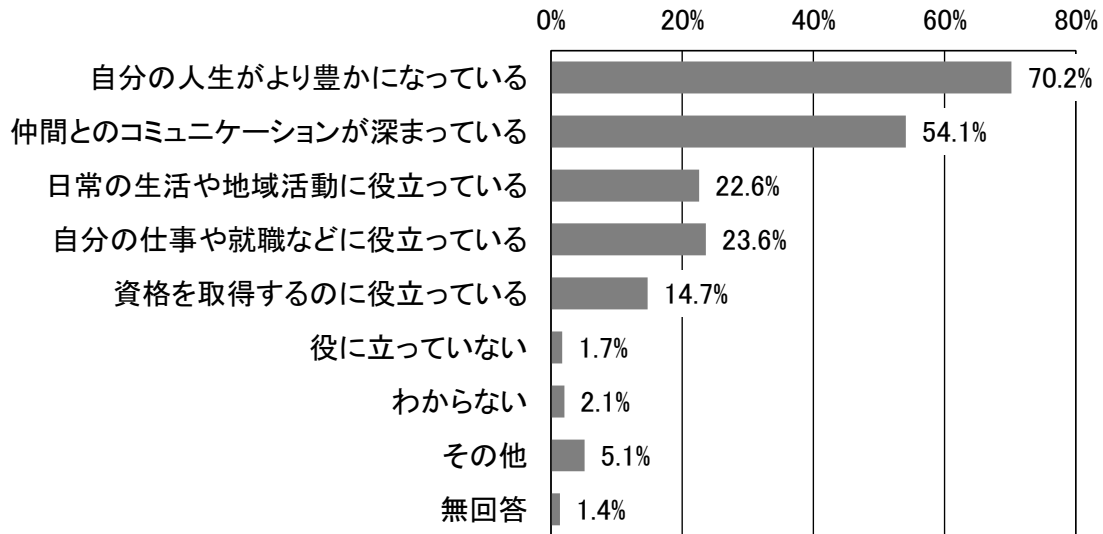
取り組んでいる生涯学習の1ヵ月あたりの費用については、「3,000円～5,000円未満」が 19.2%と最も高く、次いで「5,000円～10,000円未満」が 18.8%、「1,000円～3,000円未満」が 16.8%となっています。



項目	度数	構成比
0円	24	8.2%
1,000円未満	25	8.6%
1,000円～3,000円未満	49	16.8%
3,000円～5,000円未満	56	19.2%
5,000円～10,000円未満	55	18.8%
10,000円～15,000円未満	25	8.6%
15,000円～20,000円未満	18	6.2%
20,000円以上	29	9.9%
無回答	11	3.8%
合計	292	100.0%
非該当	690	
合計	982	

問4-(6) あなたは、生涯学習で学んだ知識や技能、経験をどのように活用していますか。(あてはまるものすべてに○)

生涯学習で学んだことの活用については、「自分の人生がより豊かになっている」が70.2%と最も高く、次いで「仲間とのコミュニケーションが深まっている」が54.1%、「自分の仕事や就職などに役立っている」が23.6%となっています。

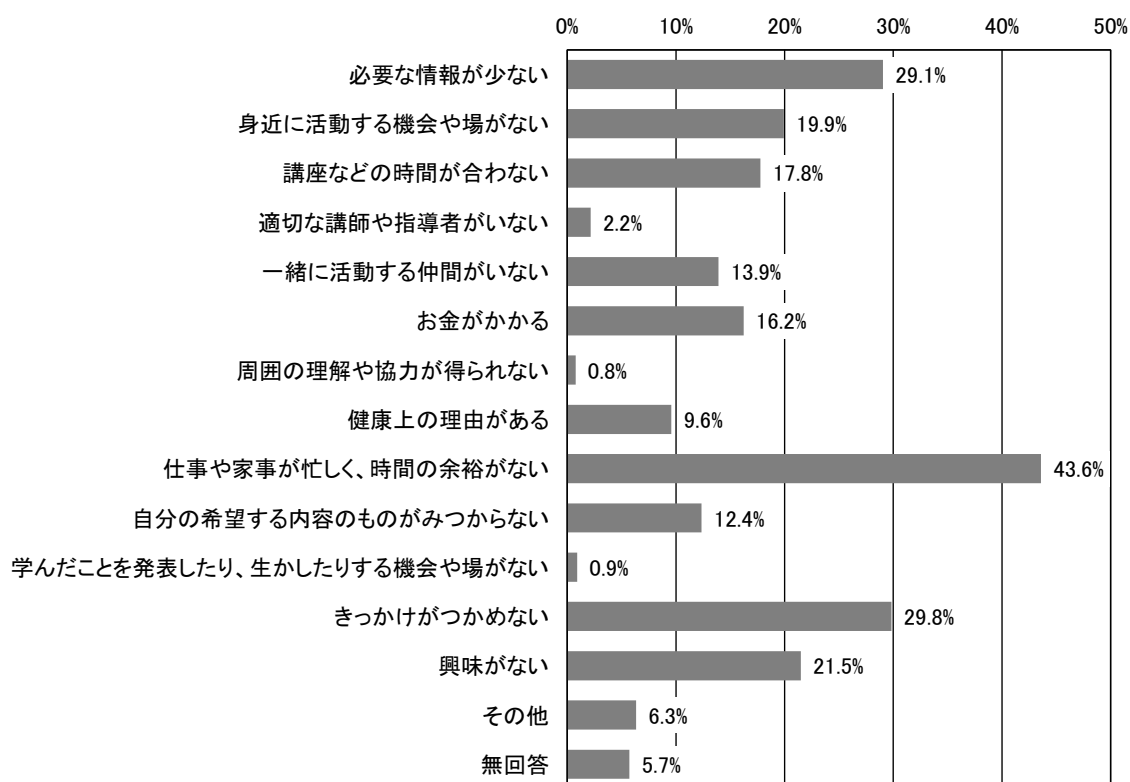


項目	度数	構成比
自分の人生がより豊かになっている	205	70.2%
仲間とのコミュニケーションが深まっている	158	54.1%
日常生活や地域活動に役立っている	66	22.6%
自分の仕事や就職などに役立っている	69	23.6%
資格を取得するのに役立っている	43	14.7%
役に立っていない	5	1.7%
わからない	6	2.1%
その他	15	5.1%
無回答	4	1.4%
回答者数	292	
非該当	690	
合計	982	

【問4で「2. ない」又は「3. わからない」を選んだ人におたずねします。】

問4-(7) あなたが、生涯学習に取り組まなかった(取り組むことができなかった)主な理由を教えてください。(あてはまるものすべてに○)

生涯学習に取り組んでいない理由については、「仕事や家事が忙しく、時間の余裕がない」が43.6%と最も高く、次いで「きっかけがつかめない」が29.8%、「必要な情報が少ない」が29.1%となっています。

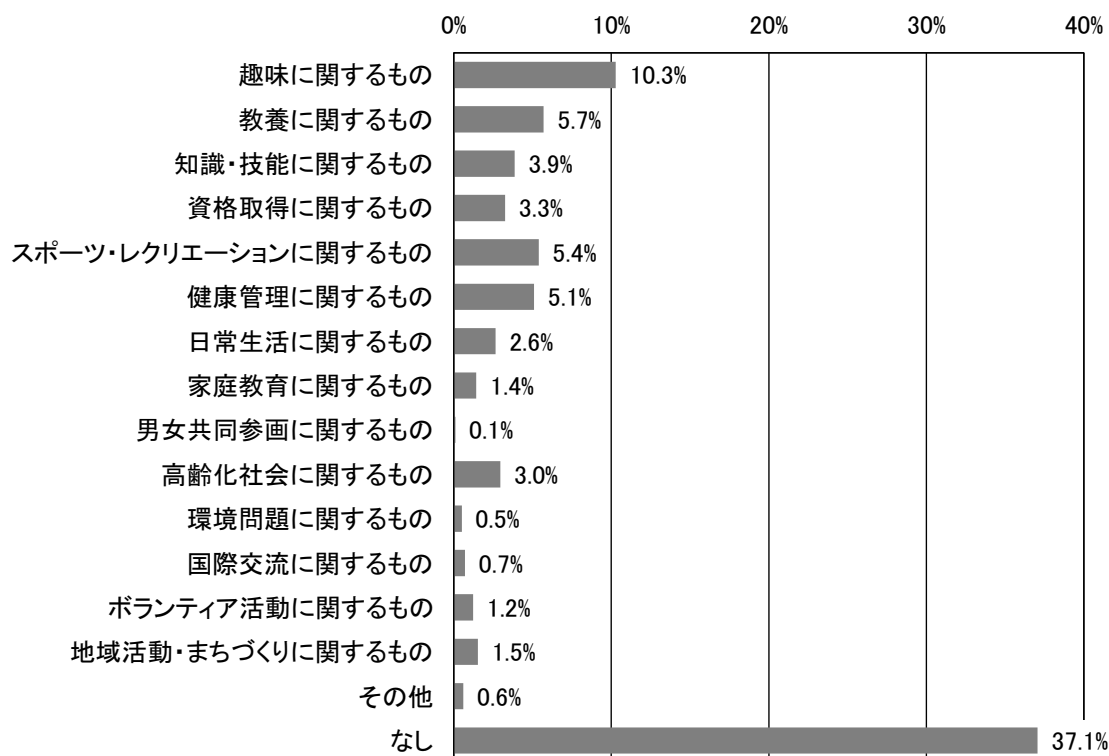


項目	度数	構成比
必要な情報が少ない	188	29.1%
身近に活動する機会や場がない	129	19.9%
講座などの時間が合わない	115	17.8%
適切な講師や指導者がいない	14	2.2%
一緒に活動する仲間がいない	90	13.9%
お金がかかる	105	16.2%
周囲の理解や協力が得られない	5	0.8%
健康上の理由がある	62	9.6%
仕事や家事が忙しく、時間の余裕がない	282	43.6%
自分の希望する内容のものがみつからない	80	12.4%
学んだことを発表したり、生かしたりする機会や場がない	6	0.9%
きっかけがつかめない	193	29.8%
興味がない	139	21.5%
その他	41	6.3%
無回答	37	5.7%
回答者数	647	
非該当	335	
合計	982	

【すべての方におうかがいします。】

問5 今後、あなたが取り組んでみたい生涯学習を教えてください。（1つに○）

今後、取り組んでみたい生涯学習については、「趣味に関するもの」が10.3%と最も高く、次いで「教養に関するもの」が5.7%、「スポーツ・レクリエーションに関するもの」が5.4%、「健康管理に関するもの」が5.1%となっています。

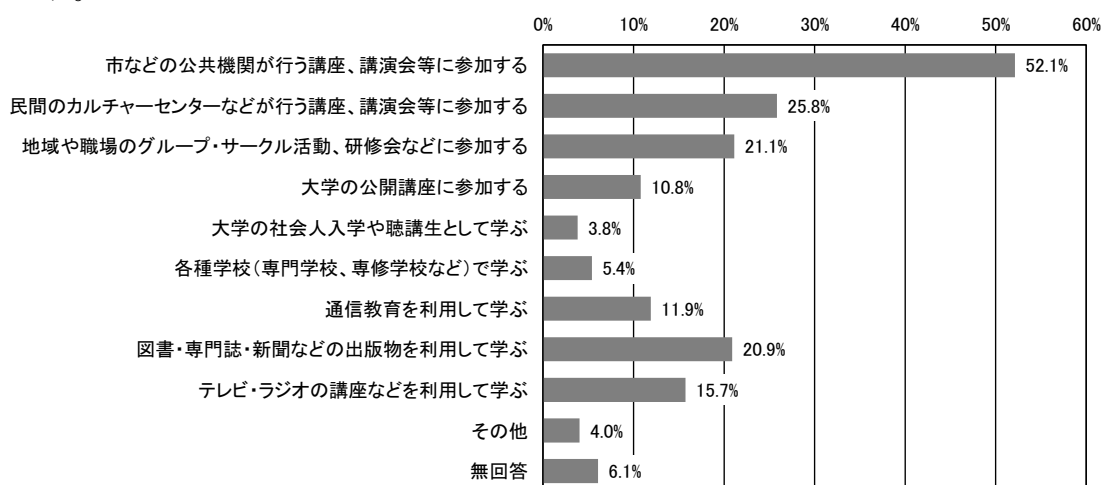


項目	度数	構成比
趣味に関するもの(音楽、美術、華道、舞踏など)	101	10.3%
教養に関するもの(文学、歴史、語学など)	56	5.7%
知識・技能に関するもの(インターネット、パソコンなど)	38	3.9%
資格取得に関するもの	32	3.3%
スポーツ・レクリエーションに関するもの	53	5.4%
健康管理に関するもの(健康法、医学など)	50	5.1%
日常生活に関するもの(料理、手芸など)	26	2.6%
家庭教育に関するもの(育児、子どものしつけなど)	14	1.4%
男女共同参画に関するもの	1	0.1%
高齢化社会に関するもの(高齢福祉、介護など)	29	3.0%
環境問題に関するもの(リサイクルなど)	5	0.5%
国際交流に関するもの(文化、風俗・慣習など)	7	0.7%
ボランティア活動に関するもの	12	1.2%
地域活動・まちづくりに関するもの	15	1.5%
その他	6	0.6%
なし	173	17.6%
無回答	364	37.1%
合計	982	100.0%

【問5で「なし」以外を選んだ人におたずねします。】

問5-(1) 今後あなたが生涯学習に取り組むとき、以下のどのような方法が参加しやすいですか。（あてはまるものすべてに○）

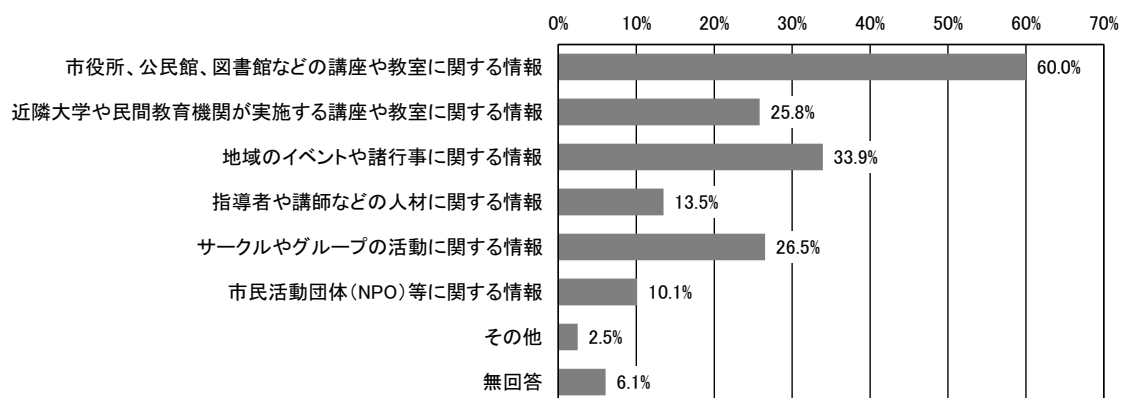
今後、生涯学習に取り組むときの参加しやすい方法については、「市などの公共機関が行う講座、講演会等に参加する」が52.1%と最も高く、次いで「民間のカルチャーセンターなどが行う講座、講演会等に参加する」が25.8%、「地域や職場のグループ・サークル活動、研修会などに参加する」が21.1%となっています。



項目	度数	構成比
市などの公共機関が行う講座、講演会等に参加する	232	52.1%
民間のカルチャーセンターなどが行う講座、講演会等に参加する	115	25.8%
地域や職場のグループ・サークル活動、研修会などに参加する	94	21.1%
大学の公開講座に参加する	48	10.8%
大学の社会人入学や聴講生として学ぶ	17	3.8%
各種学校(専門学校、専修学校など)で学ぶ	24	5.4%
通信教育を利用して学ぶ	53	11.9%
図書・専門誌・新聞などの出版物を利用して学ぶ	93	20.9%
テレビ・ラジオの講座などを利用して学ぶ	70	15.7%
その他	18	4.0%
無回答	27	6.1%
回答者数	445	
非該当	537	
合計	982	

問5-(2) あなたは、生涯学習に関してどのような情報があつたらよいと思いますか。(あてはまるものすべてに○)

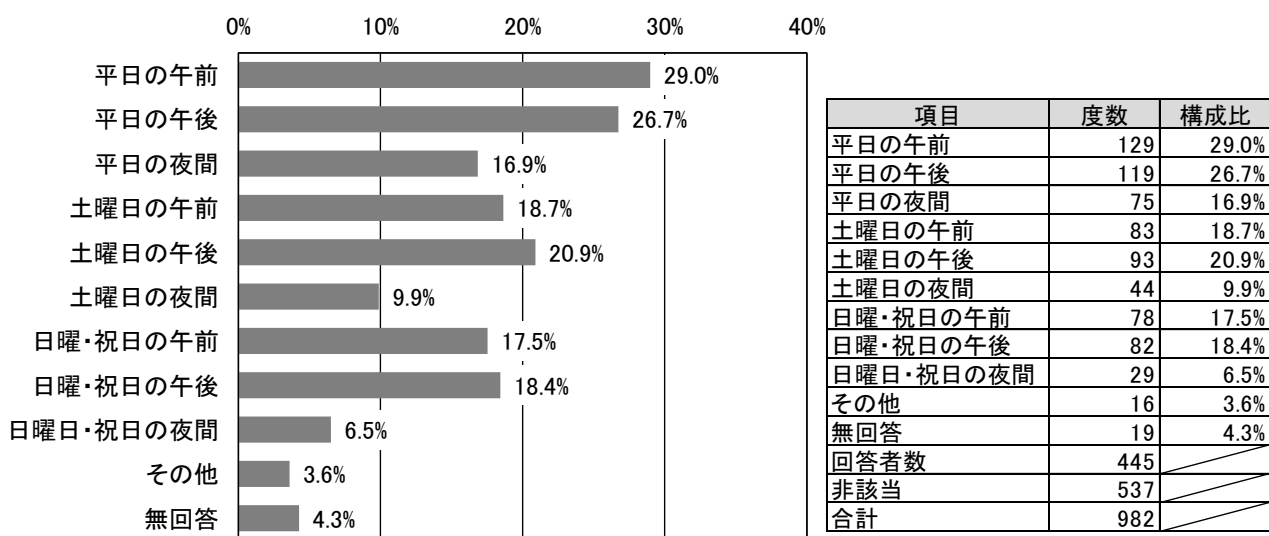
生涯学習に関して、あつたらよいと思う情報については、「市役所、公民館、図書館などの講座や教室に関する情報」が60.0%と最も高く、次いで「地域のイベントや諸行事に関する情報」が33.9%、「サークルやグループの活動に関する情報」が26.5%となっています。



項目	度数	構成比
市役所、公民館、図書館などの講座や教室に関する情報	267	60.0%
近隣大学や民間教育機関が実施する講座や教室に関する情報	115	25.8%
地域のイベントや諸行事に関する情報	151	33.9%
指導者や講師などの人材に関する情報	60	13.5%
サークルやグループの活動に関する情報	118	26.5%
市民活動団体(NPO)等に関する情報	45	10.1%
その他	11	2.5%
無回答	27	6.1%
回答者数	445	
非該当	537	
合計	982	

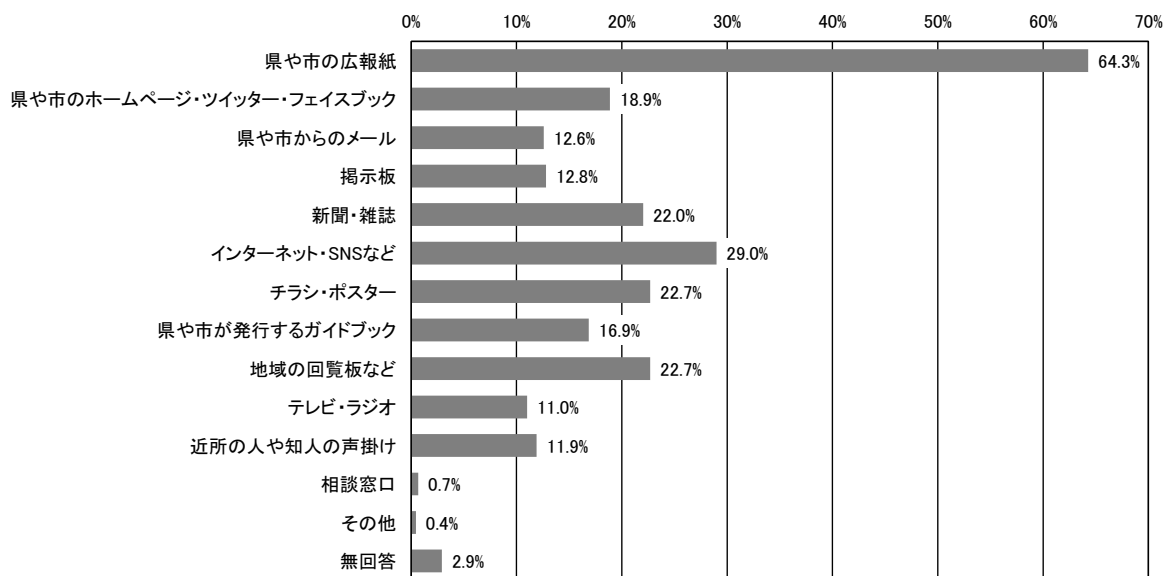
問5-(3) あなたが生涯学習に取り組みやすい時間帯はいつですか。
(あてはまるものすべてに○)

生涯学習の取り組みやすい時間については、「平日の午前」が29.0%と最も高く、次いで「平日の午後」が26.7%、「土曜日の午後」が20.9%となっています。



問5-(4) あなたは、生涯学習活動に関する情報をどのような方法で得やすいですか。(あてはまるものすべてに○)

生涯学習に関する情報の入手方法については、「県や市の広報紙」が64.3%と最も高く、次いで「インターネット・SNSなど」が29.0%、「チラシ・ポスター」、「地域の回覧板など」がともに22.7%となっています。



項目	度数	構成比
県や市の広報紙	286	64.3%
県や市のホームページ・ツイッター・フェイスブック	84	18.9%
県や市からのメール	56	12.6%
掲示板	57	12.8%
新聞・雑誌	98	22.0%
インターネット・SNSなど	129	29.0%
チラシ・ポスター	101	22.7%
県や市が発行するガイドブック	75	16.9%
地域の回覧板など	101	22.7%
テレビ・ラジオ	49	11.0%
近所の人や知人の声掛け	53	11.9%
相談窓口	3	0.7%
その他	2	0.4%
無回答	13	2.9%
回答者数	445	
非該当	537	
合計	982	

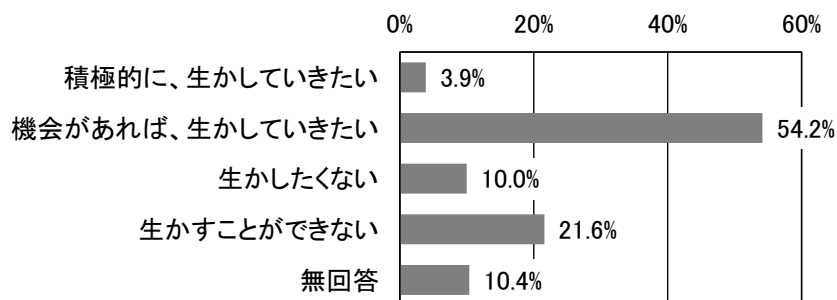
(4) 地域活動について

【すべての方におうかがいします。】

問6 あなたは今後、生涯学習の成果を地域で生かしていきたいと思いませんか。
(ひとつに○)

生涯学習の成果を地域で生かしていきたいかについては、「機会があれば、生かしていきたい」が54.2%と最も高く、「積極的に、生かしていきたい」と合わせると、約6割の方が「生かしていきたい」と回答しています。

「生かすことができない」が21.6%、「生かしたくない」が10.0%となっています。

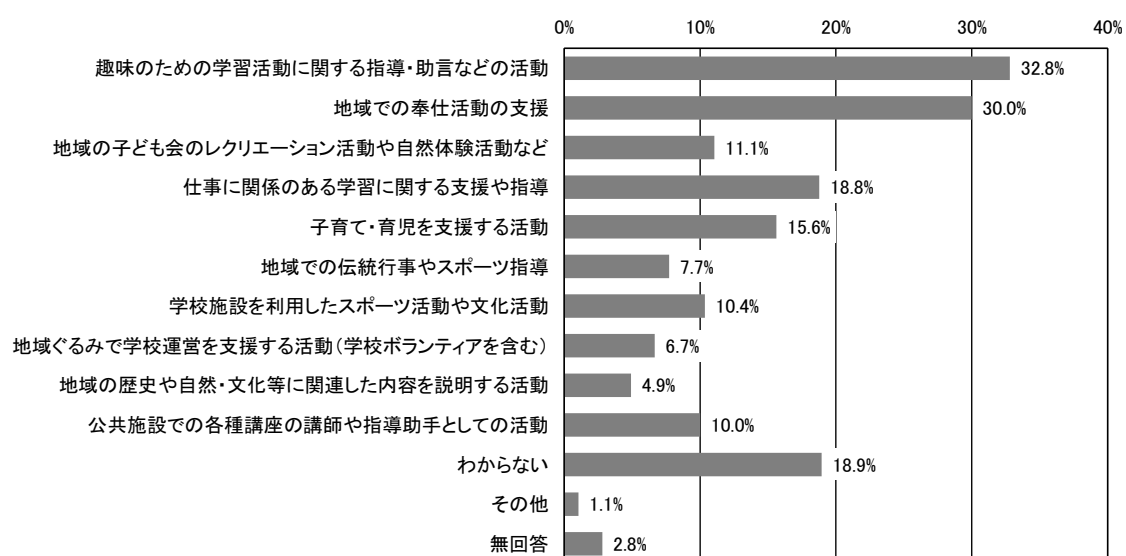


項目	度数	構成比
積極的に、生かしていきたい	38	3.9%
機会があれば、生かしていきたい	532	54.2%
生かしたくない	98	10.0%
生かすことができない	212	21.6%
無回答	102	10.4%
合計	982	100.0%

(問6で「1. 積極的に、生かしていきたい」又は「2. 機会があれば、生かしていきたい」を選んだ人におたずねします。)

問6-(1) あなたは、生涯学習の成果をどのように生かしていきたいと思いますか。
(あてはまるものすべてに○)

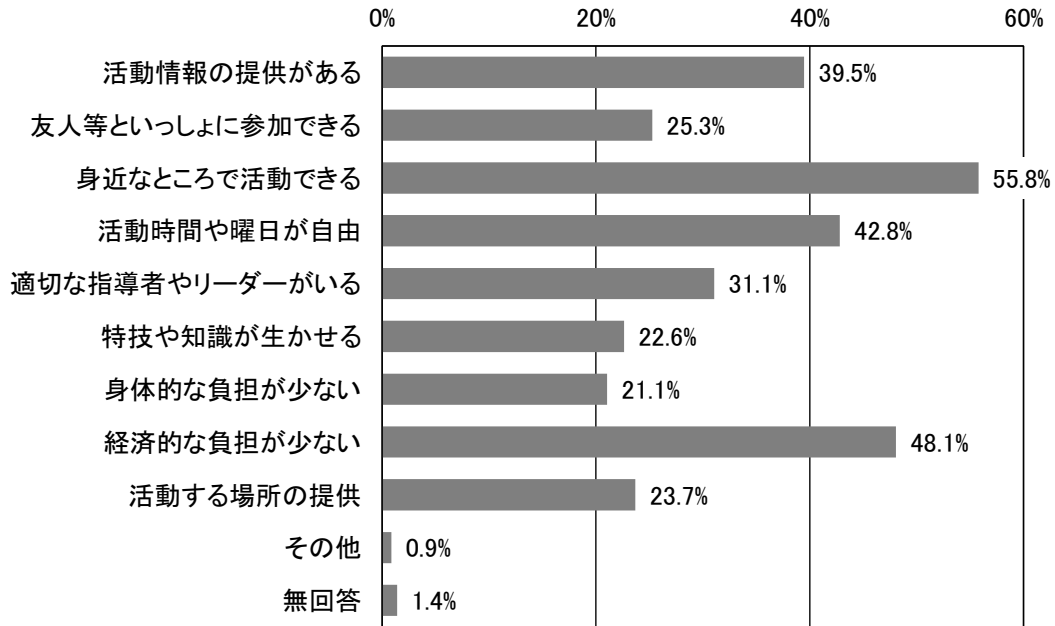
生涯学習の成果をどのように生かしていきたいかについては、「趣味のための学習活動に関する指導・助言などの活動」が32.8%と最も高く、次いで「地域での奉仕活動の支援」が30.0%、「仕事に関係のある学習に関する支援や指導」が18.8%となっています。



項目	度数	構成比
趣味のための学習活動に関する指導・助言などの活動	187	32.8%
地域での奉仕活動の支援	171	30.0%
地域の子ども会のレクリエーション活動や自然体験活動など	63	11.1%
仕事に関係のある学習に関する支援や指導	107	18.8%
子育て・育児を支援する活動	89	15.6%
地域での伝統行事やスポーツ指導	44	7.7%
学校施設を利用したスポーツ活動や文化活動	59	10.4%
地域ぐるみで学校運営を支援する活動(学校ボランティアを含む)	38	6.7%
地域の歴史や自然・文化等に関連した内容を説明する活動	28	4.9%
公共施設での各種講座の講師や指導助手としての活動	57	10.0%
わからない	108	18.9%
その他	6	1.1%
無回答	16	2.8%
回答者数	570	
非該当	412	
合計	982	

問6-(2) 生涯学習の成果をより地域で生かすためには、どのような条件が必要ですか。(あてはまるものすべてに○)

生涯学習の成果を地域で生かすために必要な条件については、「身近なところで活動できる」が55.8%と最も高く、次いで「経済的な負担が少ない」が48.1%、「活動時間や曜日が自由」が42.8%となっています。

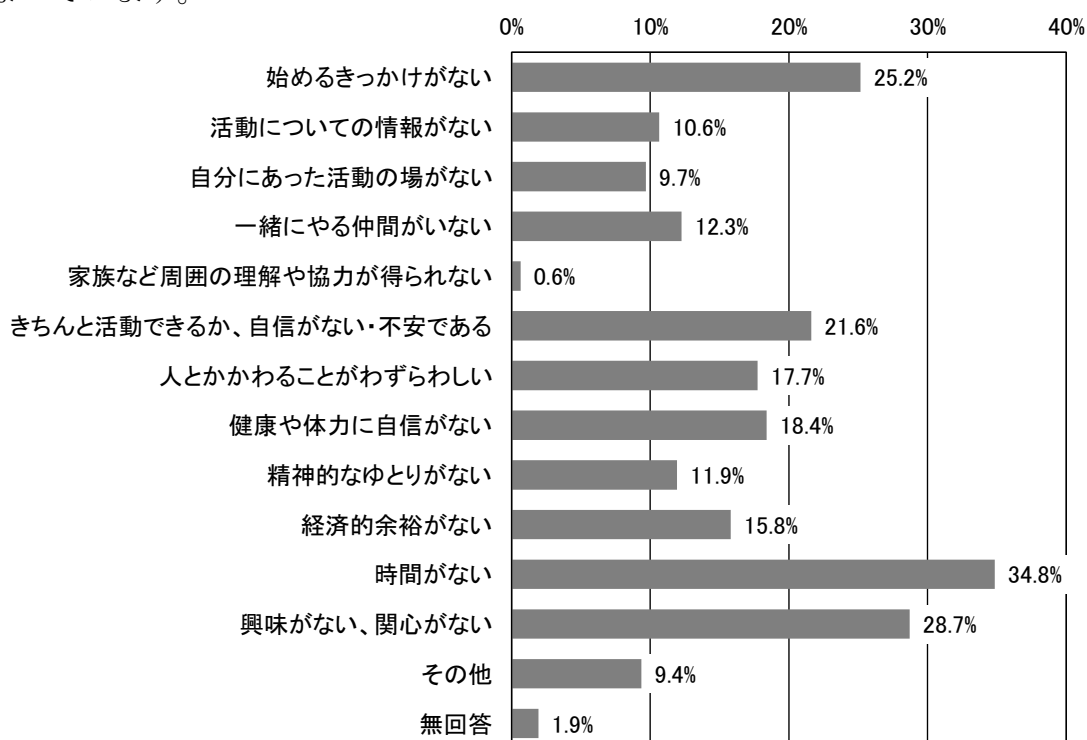


項目	度数	構成比
活動情報の提供がある	225	39.5%
友人等といっしょに参加できる	144	25.3%
身近なところで活動できる	318	55.8%
活動時間や曜日が自由	244	42.8%
適切な指導者やリーダーがいる	177	31.1%
特技や知識が生かせる	129	22.6%
身体的な負担が少ない	120	21.1%
経済的な負担が少ない	274	48.1%
活動する場所の提供	135	23.7%
その他	5	0.9%
無回答	8	1.4%
回答者数	570	
非該当	412	
合計	982	

(問6で「3. 生かしたくない」又は「4. 生かすことができない」を選んだ人におたずねします。)

問6-(3) 生涯学習の成果を生かしたくない、生かすことができない理由を教えてください。(あてはまるものすべてに○)

生涯学習を生かせない理由については、「時間がない」が34.8%と最も高く、次いで「興味がない、関心がない」が28.7%、「始めるきっかけがない」が25.2%となっています。

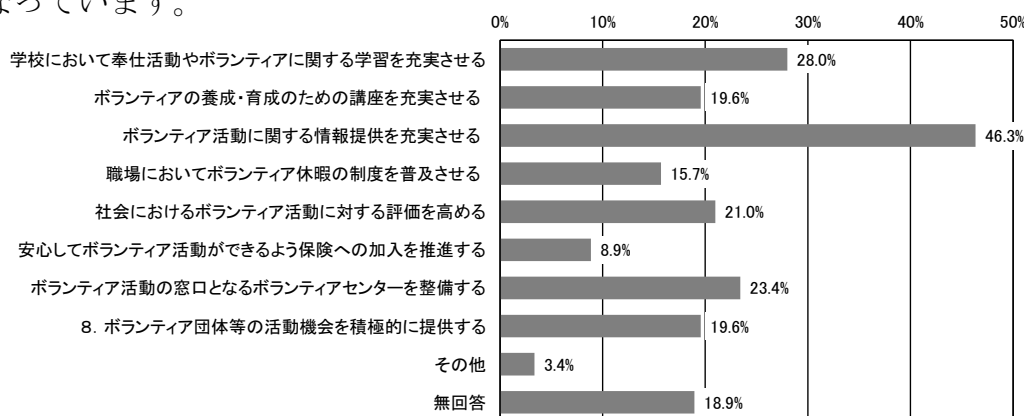


項目	度数	構成比
始めるきっかけがない	78	25.2%
活動についての情報がない	33	10.6%
自分にあった活動の場がない	30	9.7%
一緒にやる仲間がいない	38	12.3%
家族など周囲の理解や協力が得られない	2	0.6%
きちんと活動できるか、自信がない・不安である	67	21.6%
人とかかわることがわずらわしい	55	17.7%
健康や体力に自信がない	57	18.4%
精神的なゆとりがない	37	11.9%
経済的余裕がない	49	15.8%
時間がない	108	34.8%
興味がない、関心がない	89	28.7%
その他	29	9.4%
無回答	6	1.9%
回答者数	310	
非該当	672	
合計	982	

【すべての方におうかがいします。】

問7 地域のボランティア活動をもっと盛んにするために、どのような取り組みが必要だと思いますか。（あてはまるものすべてに○）

地域のボランティア活動を盛んにするために必要な取り組みについては、「ボランティア活動に関する情報提供を充実させる」が46.3%と最も高く、次いで「学校において奉仕活動やボランティアに関する学習を充実させる」が28.0%、「ボランティア活動の窓口となるボランティアセンターを整備する」が23.4%となっています。

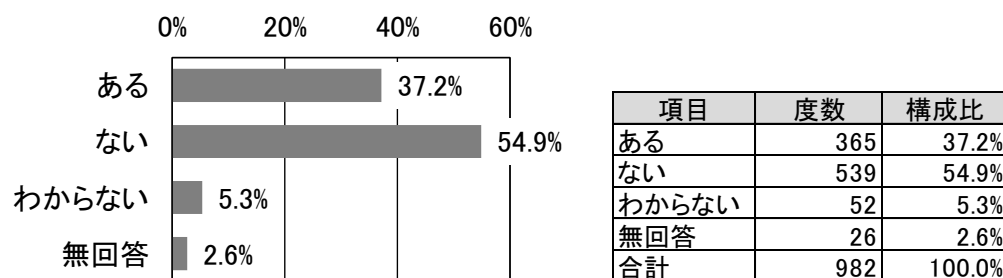


項目	度数	構成比
学校において奉仕活動やボランティアに関する学習を充実させる	275	28.0%
ボランティアの養成・育成のための講座を充実させる	192	19.6%
ボランティア活動に関する情報提供を充実させる	455	46.3%
職場においてボランティア休暇の制度を普及させる	154	15.7%
社会におけるボランティア活動に対する評価を高める	206	21.0%
安心してボランティア活動ができるよう保険への加入を推進する	87	8.9%
ボランティア活動の窓口となるボランティアセンターを整備する	230	23.4%
8. ボランティア団体等の活動機会を積極的に提供する	192	19.6%
その他	33	3.4%
無回答	186	18.9%
回答者数	982	

【すべての方におうかがいします。】

問8 あなたは、団体の活動に参加したことがありますか。

団体活動については、参加したことが「ある」が37.2%、「ない」が54.9%、「わからない」が5.3%となっています。

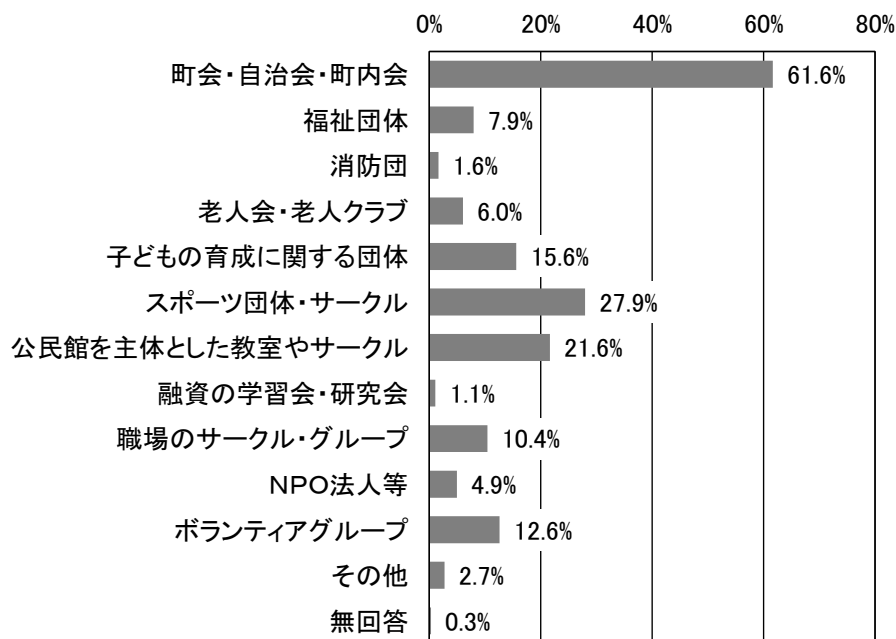


【問8で「1. ある」を選んだ人におたずねします。】

問8-(1) あなたが、活動に参加したことがある団体を教えてください。

(あてはまるものすべてに○)

活動に参加したことがある団体については、「町会・自治会・町内会」が61.6%と最も高く、次いで「スポーツ団体・サークル」が27.9%、「公民館を主体とした教室やサークル」が21.6%となっています。

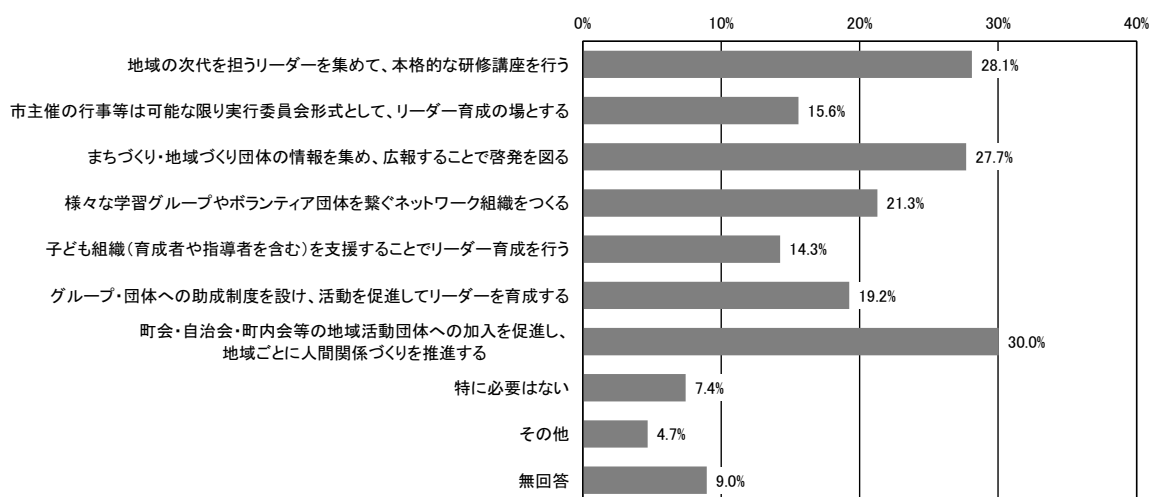


項目	度数	構成比
町会・自治会・町内会	225	61.6%
福祉団体	29	7.9%
消防団	6	1.6%
老人会・老人クラブ	22	6.0%
子どもの育成に関する団体	57	15.6%
スポーツ団体・サークル	102	27.9%
公民館を主体とした教室やサークル	79	21.6%
融資の学習会・研究会	4	1.1%
職場のサークル・グループ	38	10.4%
NPO法人等	18	4.9%
ボランティアグループ	46	12.6%
その他	10	2.7%
無回答	1	0.3%
回答者数	365	
非該当	617	
合計	982	

【すべての方におうかがいします。】

問9 地域のグループや団体では、リーダー不足が課題となっています。リーダーや指導者を育成していくためには何が必要だと思いますか。
(あてはまるものすべてに○)

地域のグループや団体でリーダーや指導者を育成していくために必要なことについては、「町会・自治会・町内会等の地域活動団体への加入を促進し、地域ごとに人間関係づくりを推進する」が30.0%と最も高く、次いで「地域の次代を担うリーダーを集めて、本格的な研修講座を行う」が28.1%、「まちづくり・地域づくり団体の情報を集め、広報することで啓発を図る」が27.7%となっています。



項目	度数	構成比
地域の次代を担うリーダーを集めて、本格的な研修講座を行う	276	28.1%
市主催の行事等は可能な限り実行委員会形式として、リーダー育成の場とする	153	15.6%
まちづくり・地域づくり団体の情報を集め、広報することで啓発を図る	272	27.7%
様々な学習グループやボランティア団体を繋ぐネットワーク組織をつくる	209	21.3%
子ども組織(育成者や指導者を含む)を支援することでリーダー育成を行う	140	14.3%
グループ・団体への助成制度を設け、活動を促進してリーダーを育成する	189	19.2%
町会・自治会・町内会等の地域活動団体への加入を促進し、地域ごとに人間関係づくりを推進する	295	30.0%
特に必要はない	73	7.4%
その他	46	4.7%
無回答	88	9.0%
回答者数	982	

問10 あなたは、行政が市民の学習や活動を支援するために、どのようなことに力を入れるべきだと思いますか。ご自由にお書きください。

※アンケート票の最後に設置した自由意見欄の主な回答をみると次のとおりとなっています。自由意見は、以下のとおり一部を割愛して掲載しています。

- 回答の意味が分かりにくいもの、文章がおかしいもの、判読ができないものは除いています。
- 特定の個人や団体等が記載されているいわゆる個人情報に関するものは除いています。
- 一部、こちらで現代仮名遣いやひらがなを漢字に修正、施設等を正式名称にするなど、明らかな間違いは修正している部分があります。
- なるべく今後の生きがい学習の推進に関し建設的な意見・要望を優先し、関連性の薄い意見などは除いています。

- この先高齢化が進んでいきます。自治会活動も高齢化ではないでしょうか。自治会活動に参加しなければと思いながら自分たちの親世代の方をお願いしてばかりです。引きこもらない為に必要かもしれませんが、若い人がもっと興味をもって自分の時間をさいて参加していかないといけないと思いますが、参加する若者が少なければ参加しにくいような気がします。どのように世代交代していくか子育て、仕事に忙しい若者が興味をもって参加できるのか。参加しやすい環境づくりでしょうか。難しいです。ふじみ野市はとても良い市だと思います。これからも頑張って下さい。(40歳～49歳, 女性)
- 掲示板を最大限に活用する。イベント、講座の一覧を貼り出すことにより市民がどんなイベントがあるかすぐに分かるので。(30歳～39歳, 女性)
- 大井の公民館や図書館をもっと利用しやすいように改装する。次世代を担う子ども達が利用しやすくすれば地域が活発化する。上福岡の施設では子ども達には遠く行くことがない。市民全体がいろいろな地域から利用しやすくするべき。(40歳～49歳, 女性)
- 総合的なボランティアセンターからの情報発信を充実させていただきたいと思います。ボランティアを募集している側とボランティアの場所をさがしている側とのコーディネートをやってくださる方がいらっしやると助かると思います。生涯学習の発表の場を作っていただきたいと思います。(50歳～59歳, 女性)
- 講座、研修などを数多く展開する。アンケートなど実施し、受講したい内容を反映させる。講師は外部から地域に根ざした方などバランス良く。(50歳～59歳, 女性)
- 大井図書館を充実させてほしい。ピアノ譜があると嬉しいです。(既にあつたらすみません。)(20歳～29歳, 女性)

- 格差すすむ社会。貧困層の子ども達へのボランティアを是非に。(70 歳～79 歳, 性別不明)
- 自治会の回覧板に地域での情報をはさんでみるとか！無料で体験できるものを増やすとか。(30 歳～39 歳, 女性)
- 資金援助 (70 歳～79 歳, 女性)
- 専門家やリーダーとなる人材の情報を行政が集めて、ホームページなどで広く周知して人と人とのつながりの仲立ちをしてほしい。どのような人が地元にいच्छやるかわからないので。(60 歳～69 歳, 男性)
- 古い人間の考え方の押しつけが強く、若い人の意見や考えを取り込めない人々が中心になって活動 (自治会やサークル) が行われているのが問題点。役所の対応もいつもの時代の決まりを押しつけるのかと不思議に思う。今の時代の流れるスピードに市、町、行政はついていけない。もう少し考え方を行政と地域住民と考えていく必要がある。時代遅れな行政と自治会は見直すべき。(40 歳～49 歳, 男性)
- 学習機会の情報提出。ボランティア的な活動の開始に向けた支援。恒常的なものでなくてもスポット的なものでよいのでは。意志のある方が動けるような対応が望ましい。(前述した相談窓口の設置や定期的な発表の場を設ける等々)。私は職場で部下及び希望する社員を数名のグループに分け、その中でテーマを話し合って決めてもらい、活動の結果を年度末の技術交流会で発表してもらっ活動をしています皆楽しくやっっているようですし、思いがけないような成果が得られています。(50 歳～59 歳, 男性)
- 健康、体力増強。未婚者の出会い対策。交通の安全円滑化対策。(60 歳～69 歳, 男性)
- やりたいことはあるけれど、私に何が出来る？と思うことで前に出られない。同じ事を考えているグループとかがあったら見に行ってみたい。それが何処にあるか分からない。(60 歳～69 歳, 女性)
- こまかな情報の揭示。(20 歳～29 歳, 女性)
- 現在、身近に感じられないので身近に感じられるように活動内容をHP等へ載せたりしっ欲しい。誰かに誘われれば行っくかも…。(50 歳～59 歳, 男性)
- 場所の提供 (20 歳未満, 女性)
- 生涯学習が何故、行政で必要なものとして取り組むのかよく分かりません。知識ありません。私の意見としては役に立てる場の方が必要で、そのために生涯学習が必要ということにはならないです。普段考えていないのでうまく表現ができませんが生涯学習推進計画が目的ならば力をいれるところを間違えないようにしっ欲しいです。(50 歳～59 歳, 男性)
- 特技、経験が生かせる情報の提供。(70 歳～79 歳, 男性)

- 私は学校防災（小中）生徒達への防災教育（講座・訓練）を推進したいと考えます。又地域と一緒にすることも重要で助け合いをすることも必要です。子ども達が大人になった時又その子ども達が防災を伝達することになると思います。現在ふじみ野市は学校防災に対してあまり積極的ではないように見えます。行政も縦割りでなかなか防災教育が進みません。もっと積極的な取り組みをするならば私は推進に力を入れたいと思います。（70歳～79歳，男性）
- 若い30代、40代の子育てのママ、パパへの人生経験豊富な高齢者の知恵、支援が届けば未来を担う子ども達は今よりもっともっと活発に育つのではないかと思う。関わりとしては非常に難しいものの何よりも予算をかけずにすむ体制づくりではないかと常に思っている。（60歳～69歳，女性）
- まず自分から人前に行けるようにする事から始めないと先に進むことが出来ない。皆の前で意見が言えるようになりコミュニケーションがとる事ができました。一歩踏み出す勇気が必要です。（年齢不明，性別不明）
- 行政の担当の方がある程度の年数、続けて同じ担当を受け持って下さり、理解を深めて下さること。ボランティア活動などはある程度の資金を安定して投入して下さること。自主的な活動が原則だが困っていることなどを相談できる窓口があること。活動内容のわかりやすい情報が得られる機会（場所）があること。（60歳～69歳，女性）
- 広報（無線含む）やインターネットによる情報の提供、今後市のホームページを見るようにしたい。（60歳～69歳，男性）
- 講座等の種類の充実。場所の提供。（30歳～39歳，男性）
- 地域のグループ、団体の指導者やリーダーとして主力となる年代の方々への認知を促す場？促すことがもう少し必要なのかなと思います。市として生涯学習を幅広く支援し、そういった活動が活発でスポーツ、文化、学習が豊かな潤いのある町作りを目指していくという姿勢のアピールがもう少しあると良いのかなとも思います。まだ市という枠より旧上福岡、旧大井といった香りが市の文化祭にも漂っているような。（40歳～49歳，女性）
- コミュニケーションセンターでの各イベント、行事を積極的に開催してほしい。又、情報を発信してほしい。（60歳～69歳，男性）
- 子育てを経験してきた私達が少しでも子供達や保育士さんたちの役に立てたら嬉しく思います。そのための基本的な保育の知識を学べるような（以前老人介護のためのヘルパー2級の資格の講習があったような気がします。）機会があればと思います。学童保育などボランティアではなく働けるところ（助手として）地域の中でサポート的に働ける場所があればと思います。（60歳～69歳，女性）
- 近隣の大学と協力してセミナーを開催。駅の近くで開催だと参加しやすい。開催して欲しいセミナーのアンケートを取る（インターネットで）（紙だとゴミが出る）（40歳～49歳，女性）

- 場所の提供、施設の充実(利用したいと思うような施設が少ない。あってもなかなか希望の所が利用しづらい etc.)。情報の提供(そういう活動があること自体あまり知らない事が多い) (40 歳～49 歳, 女性)
- 現在、生涯学習に携わっている方の多くが高齢者である。若返りの方策、対応が必要 (70 歳～79 歳, 男性)
- 生活上の時間帯に負担にならないように。(60 歳～69 歳, 女性)
- 様々の形で、どんな学習や活動が行われるのかを目に触れやすくしてもらいたい (60 歳～69 歳, 女性)
- 学習、活動内容の充実。広報の更なる強化。(20 歳～29 歳, 男性)
- 伊奈にある県民活動総合センター(けんかつ)のパソコン講座によく行きます。メールやダイレクトメールで新しい講座の情報も送ってくれます。民間のパソコン教室に行くよりずっと安く、シニア向けの講座もたくさんあるので老後も楽しみですが、ふじみ野市からは遠いです。不公平に感じます。近くに住んでる人は毎年同じ講座に参加したりしているそうです。同じ場所でやって、県内の人が同じように参加できるようにしてほしいです。ネットで調べてもふじみ野市でけんかつのような access とか UBA の講座をやってくれるところは見つかりませんでした。(40 歳～49 歳, 女性)
- 市が主催する行事を増やし、広報活動を行い広く知ってもらおう。リーダーの負担が大きくなるよう手伝いをしてあげる。色々な高齢の人が活動できると続いていくと思うので、参加しやすい環境(例えば場合の提供、発表する場の提供)を助ける (40 歳～49 歳, 女性)
- まず、情報が少ない。やりたい事があってもいける時間がない。子供を預けられないので連れて行ってお預かりなどがあると良い。(30 歳～39 歳, 女性)
- ツイッターでの情報提供、迅速に。(50 歳～59 歳, 女性)
- 図書館で勉強できる環境を提供して欲しい。休日でも都内の大学まで行く事や、長期休みに大学が閉まっているなどの為市立図書館を勉強に利用したい。(20 歳～29 歳, 女性)
- 学習や活動が自分の為であり、人の手助けにもなり、生きがいにもなり、自分らしく生きられ皆仲良く生活できればいいなと思います。まずリーダー育成だと思います。(60 歳～69 歳, 女性)
- 幅広い年代に対応した講座や教室を増やして欲しい。近い将来高齢者社会になるのは確実で、追いつかれる前にリスク覚悟で福祉などの対策をとって欲しい。それが市、地域のイメージアップに繋がったらいいと思います。(違う意味での) (50 歳～59 歳, 女性)
- 情報が欲しい、気軽に参加出来るようにして欲しい(資格取得に関するもの) (30 歳～39 歳, 男性)
- 生活が安定しないと学習に目を向けるのは難しいのではないかな。今は大抵の情報はインターネットの提供となっている。使用できる人とそうでない人の格差が大きい。それを解決するための方法を考えていただきたい。(40 歳～49 歳, 男性)

- 社協を利用し、リーダーを育成する。(50歳～59歳, 女性)
- ボランティアの活動の種類を具体的に知りたい。私自身のできるボランティアがあるのかどうか不安で一步が踏み出せない。(60歳～69歳, 女性)
- 気軽に参加できる状況をつくる。(年齢不明, 性別不明)
- 何かをやってみたいと思っている人は多いと思う。“生涯学習”とくくられるとよく意味がわからなかったり、ハードルが高くなってしまっているのではないかと。わかりやすく、きっかけをつかみやすく、情報を提示したり、足を運びやすい場の提供等が必要ではないかと思う。(50歳～59歳, 女性)
- 市民の学習や活動は個人的な事なので特に必要性を感じない。(60歳～69歳, 女性)
- 若者を集める。場所の確保、充実。積極的に情報を発信する。(20歳未満, 女性)
- ふじみ野市はまだ若い街ですのでこれからもっともっと発展すると思います。そのためには市と住人が意見を出し合い、もっともっと行けやすく安全に皆が団結できるようにがんばってもらいたいです。(70歳～79歳, 女性)
- 手頃な値段とある程度選べるような様々な時間に参加できる講演や講座などを設け、それらの情報を例えば市の広報や回覧板等を通じて分かりやすいように提供していくべきだと思います。(20歳未満, 男性)
- 魅力的な活動をやり続けて定着させる努力が必要ではないか。(活動場所、人、成果を示す。)(50歳～59歳, 女性)
- 現在、HPを含め何か支援についての情報を得たことがない。特に時間をかけて調べなくとも情報に触れることができるようになるとうい。(30歳～39歳, 男性)
- インターネット、SNSを活用した広報活動。(30歳～39歳, 男性)
- 経済的な支援が必要だと思います。会社を学習で休めれば良いと思います。(30歳～39歳, 男性)
- 個々の学習や活動にあわせた推進をして頂ければと思います。(20歳～29歳, 女性)
- 市役所や出張所などの公共機関で催していただけると気軽に参加できると思います。市民が使用できるようなスポーツフィットネスクラブがあると嬉しいです。(40歳～49歳, 女性)
- 市報等で年間学習予定等を配布して、もっと多くの人に知ってもらえるべき。例えばゴミのカレンダー等に学習や活動を記入してあると日々目につくので参考になる。ふじみ野市のカレンダーを各家に配布するなどもっともっと上手に伝える手段を考えてほしい。又、ポイントカード等を作り、参加した分ポイントが加算されふじみグッズがもらえる等検討して下さい。(40歳～49歳, 女性)
- 学んでみたいことや参加してみたい活動があっても結局は仕事や家庭のことで時間的に無理という人が大半だと思うので、推進するならそのあたりをどうするか?…だと思います。(30歳～39歳, 女性)
- 行政が市民の実態をしっかりと知ると共に人材育成を積極的に行う。(50歳～59歳, 男性)

- 活動の場の拡充（例えば、空き店舗の利用、リノベーションの推進？）。お年寄りだけでなく若い人も参加したくなるような学習テーマの導入（例えば、趣味活動であればコーヒーの入れ方、メイク講座など）（20歳～29歳，女性）
- どういう活動が求められているのかネット等でアンケートをとり、ニーズを調べる。それに沿って支援。広報で活動のアピール等を載せていく。（40歳～49歳，男性）
- 有名な方を呼び、なるべく分かりやすく、面白いものを企画する。（20歳未満，男性）
- 若い人はまず地域活動に馴染みがないと思うので地域に接点をもてるように学校、会社などを通じ地域活動に参加しやすくする必要があります。民間のカルチャーセンターには利用者が多いのに地域の講座に馴染みを感じないのはなぜか考えてみると学べる種類、場所が少ない事もあると思います。行政はお金を払った分きちんと学べるような講師を選ぶこと、身近な所、仕事をしている人でも学べる時間の提供が必要ですし、小さい頃からこうした活動があるのだという教育も必要かと思います。ボランティアとなると報酬のない事になるので、その代わりにやりがいを感じるだけの場や内容の提示も重要ではないでしょうか。（自分がお金を払い続けて得た知識を無料で与える事の理解も行政は必要だと思います。）（30歳～39歳，女性）
- 生涯学習指導者の育成。（80歳以上，男性）
- 学習や活動への参加は、本人の意志が大切なので、行政は幅広い機会提供、広報に力を入れるべき。（40歳～49歳，男性）
- どの町会、団体にも古い確執を持った長老の会長や役員経験者が、意欲のある人の意見や改革案を頑なとして聞く耳を持たない人が多く、従来通りに物事を進める傾向があり、良かれと実行する人は参加した為にストレスを感じ、二度と参加したいと思いません。経験者は相談されたらアドバイスする位でないと参加しません。ある年齢に達したら退いて貰うのが、若いリーダーが育つのだと思います。（60歳～69歳，女性）
- 高齢化社会になるので、健康に関するもの、レクリエーションなどに力を入れて欲しい。（60歳～69歳，女性）
- 生涯学習の大切さを実感できるような子供を育てていく事がまず第一だと思う。子供の頃から自主的に学ぶ楽しさを知り、コミュニケーションの大切さを理解できるような教育をすれば、行政が特に指導等しなくとも、そうした活動は活発に行われるはずである。小中学生にはボランティア活動する機会も多く与え、他者のために何かをする事の喜びと達成感を体験として教えていく事も大事だと思う。（30歳～39歳，女性）
- 小中学校の夏休み期間に非行防止のパトロールを教育、自治会、警察等の共同でやり、その後懇親会をやるなど地域と行政との交流の場がほしいと思う。（60歳～69歳，男性）
- 皆さん時間的、金銭的に余裕がないと中々出来ない事なので、安めの参加費にして間口を広げたり、一回きり等の活動や様々な時間帯を設け、参加しやすくしたりするのではないかな。（40歳～49歳，女性）

- 町づくり、地域づくりの本格的な組織と研修を行政がバックアップする（60歳～69歳，男性）
- 始めは行政が主導で活動を進めていき、段階を経て主導する立場を市民に移行していく。最終的には市民が市民の学習や活動を支援できるまでにする。→カリキュラムやマニュアル作成をする（30歳～39歳，女性）
- 活動の為には時間が必要です。子育てには非常にお金がかかるので、まず子育て支援を充実して母がフルタイムで働かなくても良い環境を作ってください。例えば医療費無料(18歳まで)、給食費無料、私学(都心含む)の中高等学校への進学支援(授業料支払い)など ふじみ野市から元気に活躍する子供が生まれることは意味のあることだと思います。（40歳～49歳，女性）
- 町内会などの地域活動に推進し力を入れるべき（70歳～79歳，女性）
- 各団体の活動を広報などで細かく指導して問い合わせの窓口を分かりやすくして欲しい（70歳～79歳，女性）
- 幅広い場所の確保、人材の確保（60歳～69歳，女性）
- 生涯学習は、個人の意志に基づいて行うものとの考えであったので、方法や手段などは個人の創意工夫によるものと思っており、行政には何も期待しておりませんでした。支援をしていただく事はありがたいですが…。色々と具体的な支援の依頼や要請をすると、追加の予算組(税金に影響)が発生する事もあり、個人の努力で推進するという事でよいのではないかと思います。行政には、税金を減らしながら市民がより良い生活を送れるような改善努力を期待します。（60歳～69歳，男性）
- 情報の発信、図書の実充（30歳～39歳，男性）
- ボランティアグループの実充。私は若い頃ボランティアで老人施設や婦人会館でお手伝いをしていました。今は歳を取りましたが私にもできることがあるのではないかと思いますか？どこでどんなお手伝いがあるかさっぱり分かりませんので残念です。以前は川越にいました。その時は友人の紹介でボランティアをしていました。こちらに越してからは友人が少ないので中々機会がありません。（70歳～79歳，女性）
- 仕事における残業問題など、生活する為の仕事に余裕がないのが実情（40歳～49歳，男性）
- 広報(「ふじみ野」市報での紹介の推進)。場所の提供、指導員・リーダーの育成・人材の発掘、把握・参加しやすい環境作り、町内会自治組織ごとの開催？（60歳～69歳，男性）
- 市の広報などで学習募集を載せ、積極的に開講などを行う事（70歳～79歳，男性）
- 情報の提供。活動できる場所の提供（30歳～39歳，女性）
- 情報を充実させる。経済的な支援を充実させる。（30歳～39歳，女性）
- 支援が必要なのか分からない。行政が望まれてないことをやっているだけの気がする。（40歳～49歳，男性）

- 年金生活なので公的な場所を利用して学習活動を続け、生きがいを見い出していければと思っていますがあまりにも団体が多く場所の確保に苦勞しているようです。もう少し余裕のある公の場所を作ってほしいです。行政が予算をあてて、良い研修会、講座などがあるのですが夜とか場所が遠かったりでなかなか参加することができません。また行政の広報だけでは啓発も不足しているのが集客率が足りないように思います。もう少し工夫をお願いし、集客できるようにお願いしたいです。(60歳～69歳, 女性)
- 広報誌でのお知らせのアピールが少なすぎてその号を見逃すとそれで終わってしまう。掲示板(お知らせ)が交通量の多い道路際で見られない。(60歳～69歳, 女性)
- もっと分かりやすい方法で招集。公報は見にくいです。(20歳～29歳, 女性)
- 情報提供。今たまに入るふじみ野Fメールはとっても役に立っている。この形でもう少し情報が入ったら便利だと思う。(30歳～39歳, 女性)
- 年齢に応じた活動。市民全体の人が気軽に声をかけること。(70歳～79歳, 女性)
- 参加しやすい体制づくり。(40歳～49歳, 男性)
- 行政はきっかけを作れば後は各自が行っていくと思います。ただ、公民館などの確保に、今はパソコンが導入されていますが字は小さく入力も簡単ではなく、係の方に何度も聞くのも悪く、たった2回分を入力するのに30分かかってしまった。私の前にいた方は1時間近くかかっていた。当番でやるのはコリゴリとサークルを辞めた。些細なことかもしれないが年のいった人には簡単に出来ないが無謀です。学習以前の問題です。女の人は積極的に動けますが男の方の学習塾をもっと高めていただきたいと思います。保育の問題もあります。我々も待機老人です。老人が集まってワイワイできるスペースがたくさん出来るのが望みです。(60歳～69歳, 女性)
- ふじみ野市は市民が足を運べる魅力的な施設が少ないと思います。そこに行けば明るい気持ちになれる。文化に触れられる。情報に触れられる。感動できる。という場所があればいいと思います。(50歳～59歳, 女性)
- いつ、どこで、何をやっていて、どのように参加するのか全く情報を知らない。積極的に参加しようと思っている人以外の人にどのように上記内容を知らせていくかが重要なのではないのでしょうか。敷居が低く気軽に参加できる雰囲気も伝えられるとより参加者が増えるのでは。(40歳～49歳, 女性)
- 市報に載っている募集はだいたい昼間なので参加できません。私は休日が定休でない為、曜日指定のものも難しいです。今回の保健センターの健康マイレージ事業に応募させて貰いましたが時間、日にちが複数あったので参加しやすかったです。夜間になれば参加できる方もいらっしやると思います。民間のカルチャーに参加する方に補助金を出すなどどうでしょうか？(50歳～59歳, 女性)
- なるべく少ない費用分担で(出来れば無料で)軽スポーツ、文化行事等の機会を提供して頂き、皆が知り得るように広報にも御尽力願えると有り難い。(70歳～79歳, 男性)

- 誰でも受けられる簡単な活動を企画する一方、経験者がより深く学べる活動も企画して2極化したら良いと思います。(30歳～39歳, 女性)
- 趣味、教養に関する内容のものをもっと広くお知らせして、たくさんの方が参加しやすい環境をつくっていくことが大切だと思います。(20歳～29歳, 女性)
- 活動の場を多くすること、大人数でなく参加者が出席する機会を多く作ること。経費の関係で難しいとは思いますが参加者の都合が悪くて出席できない場合が多々ありますね。(80歳以上, 男性)
- 費用もかかりすぎると参加しにくいと思います。でも一番大切なのはその本人やニーズに合っていて、とにかく興味を持ってもらえる内容だと思います。(40歳～49歳, 女性)
- 社会におけるボランティア活動に対する評価を高めて頂けたら嬉しく思います。(70歳～79歳, 女性)
- 公共施設の使用がわかりやすく簡単であること。広報で特集を組む。講師を登録(50歳～59歳, 女性)
- 現状で良いと思います(80歳以上, 男性)
- 補助金(20歳～29歳, 男性)
- 具体的な目的をもった養成講座を開く。その修了者でボランティア組織を作る。育つまで市の担当者が見守る(40歳～49歳, 女性)
- 市の広報誌や掲示板をもっと知ってもらう為の活動をするべきだと思います。市がどのようなことをやっているかを知らないと参加できない為、広報活動に力を入れる必要があると感じます。大学生(若い人向け)が参加しやすいような活動をもっとして欲しい。個人的には手話講座、料理教室、ボランティア活動等を充実させてほしいです。(20歳未満, 女性)
- 活動している団体などの情報を積極的に公開して欲しい(40歳～49歳, 女性)
- 助成金の充実。市職員も参加する市民との一体化。会場の確保と無料化(50歳～59歳, 男性)
- 駅の近くに学習できる場所を設ける。公民館や公共施設をもっと一般の人に開放すべき→節電の為なのは分かりますが、非常に暗い雰囲気になっていきますので、そちら方にも配慮をお願いします。(古くて暗いので汚いイメージがあります。清掃されていても)。民館の教室やサークルの時間が学生には非常に利用しづらいです。(日本文化に興味を持っているのですが、時間が合わずに諦めています)。本の返却ボックスを駅に設置して欲しいです。(20歳未満, 女性)
- 外国に繋がる子供と若者の学びを支援してほしい。①外国人子供に日本語を教える。②高校受験、そして高校進学後、大学の入試など(40歳～49歳, 女性)

- 近所には空家が目立っています。その空家を借り上げてその近くの人が「陽だまり」として趣味、読書などの集る場所にする。生涯学習の趣旨とは若干ずれるかもしれませんが空家対策にもなると思います。(70歳～79歳, 男性)
- 広報による情報発信。そのためにも、隣接市町との広域合併(富士見市、三芳町との合併のみならず川越市、あるいは新座、朝霞、先は和光と「東上市」(政令市)の実現を目指したいものですね(60歳～69歳, 男性)
- 力のある指導者を見つける。そのための自薦、他薦も含めて働きかける(60歳～69歳, 男性)
- そもそもどのような団体や活動があるか知らない。まずは存在を知ってもらう必要があると考える。小学校や中学校などで体験学習として取り入れる(20歳～29歳, 男性)
- ボランティア活動で老人ホーム等に行く時車を出してもらえると助かります。(70歳～79歳, 女性)
- 公民館主催の学級、講座が少ない。公民館に社会、教育主事を配置し、もっと積極的に市民の学習意欲に応える社会教育活動を展開すべきである。会場は公民館に限らず、コミュニティセンター、フクトピアなども活用したら？(年齢不明, 性別不明)
- 俳句、俳写、市民交流会を活動していますが、気軽に集まる場所に苦労しています。会議場の利用代も高く、無料(実際は市金を使っている)の場所は抽選で難しくなっています。学習グループに参加しようと思っても人員(人数)が少なく、又回数も少ない。カルチャーを充実し、いつでも参加できるようになれば良い。ボランティアといっても75歳になって何が出来るかを市が指導し、参加を呼びかけるのが一番かと思います。(70歳～79歳, 男性)
- 広告などの情報提供をしっかりと(20歳～29歳, 女性)
- 情報が少ないのでまずどういうものがあるか、市民に知らせて欲しい。以前に地域包括センターに行った時にふじみ野市で行っているサークルの一覧ブックがあることをはじめで知った。この本を見てこんなサークルがあることを知り、なぜ市報などで市民全体に知らせないのか疑問に思った。知っている人だけが知っているのではなく、市民全体に知らせる事が出来ればお年よりの生きがいにも繋がるのにな、と思います。(30歳～39歳, 女性)
- 行政の支援が充分でないところで、ボランティアが幅広く積極的に活動できるような制度があればいいと思います。(60歳～69歳, 女性)
- 公園に土曜、日曜日にボランティア又はお金をかけても子供、大人、老人も一緒に過ごせるような企画が欲しい。(70歳～79歳, 男性)
- 高齢者が楽しめる軽スポーツ、等の施設を提供してほしい。(60歳～69歳, 男性)
- 若者に必要な時間、お金が圧倒的に足りない。少子化で子供を産めと言われても給料が少ない→結婚できない。若いうちは苦労しろと言われて残業し時間がない。今、生涯学習、生涯スポーツに参加している年齢層が高い。(年齢不明, 性別不明)

- 行政が予算をとって、魅力的な講座を用意することが大事だと思う。市民にボランティアさせたがっているというかその方法ばかり考えているようなアンケートに思えました。30年前は意欲的な社会教育のエキスパートが少なからずいて、充実した講座を提供してその後の育成も目指していたように思います。時代もあるのかもしれませんが行政の文化、芸術面へのバックアップの貧困を感じます。市民が講座で充実した時間を持つことが潜在的な社会参加の力になると思います。(70歳～79歳, 女性)
- 鉄筋工で朝早くから働き休みは日曜日のみ。地域での活動があったとしても日曜日は身体を休める時が精一杯です。労働条件の改善がなければ参加したくてっても出来ない。(30歳～39歳, 男性)
- 生涯学習専用のサイト広報などをつくる。(30歳～39歳, 女性)
- 広報活動(70歳～79歳, 女性)
- まずは図書館や公民館のスペースの開放時間を長くしてほしい。同時にルールを徹底し、守れる人だけで使う。そういうコミュニティからニーズが生まれるのではないかと思います。リーダーの件ですが若い人(～40代くらいまで)は仕事で責任のある立場にあり負担が大きいです。シニアの元気な人に少し報酬を出してお願いしては？(30歳～39歳, 女性)
- 図書館などの充実。調べ物に応じられるような充実した資料。時に新聞は古い年代のもの朝日しかない。読売も置いてもらいたい。(70歳～79歳, 男性)
- 場所の提供やきめ細かい広報活動を行い気軽に活動に参加できるようにする事につきますと思います。(60歳～69歳, 女性)
- 仕事などの第一線から退いた高齢者で元気な人達への働きかけ。日頃各ボランティア活動や教室で活躍している人達をリーダーとして育成し輪を広げていく。(60歳～69歳, 男性)
- ボランティア活動をもっと身近なものにするために学校で積極的にボランティア活動に参加出来たらいいと思います。(20歳未満, 女性)
- 行政がリーダーシップを発揮して、まず最初に体験活動的な企画を通じて市民の意識やモチベーションを向上させる。そして有志市民の交流機会を始点として様々な活動へと派生させる支援を施すことで定着していくと考える。(20歳未満, 女性)
- 定年を迎えた人々が活躍する場を増やす。社会をどのようにしていきたいか話し合う場が欲しい。ふじみ野市が日本のモデルの市になるように考える人が多い人ほどアイデアが出していける場がほしい。(40歳～49歳, 男性)
- 今までの自分の経験を生かせれば活動のお手伝いが出来ると思うが情報得る機会が少ないと思う。もっと情報提供してほしい。(50歳～59歳, 男性)
- 経済的負担を少なくさせることがなによりだと思います。(年齢不明, 性別不明)
- 参加しやすい環境作りと情報の提供。(50歳～59歳, 男性)
- 若い夫婦の活動能力や参加協力意志の確認。(50歳～59歳, 男性)

- 個人が各活動に参加及び学習することが最終的に自分自身のためになるのだという事をいかに理解して貰うかという点が課題であろうと思っている。学ぶ事により反省が生まれ進歩に繋がり喜びに結びつく。後悔するより一歩踏み出す勇気があれば人に笑顔のプレゼントが出来、自らの充実感となる事を皆様が感じて欲しい。(60歳～69歳, 男性)
- 施設の提供 (50歳～59歳, 男性)
- 学校でのあいさつ運動とか本当に必要なのか?人に会ったらあいさつはあたりまえ。近所とのコミュニケーションも必要なのに家の前を通る子に「おはよう」と言っても無視。知らない人だからかも知れない。行政とは関係なく家庭教育だと思うがまずコミュニケーションもとれない世の中で市民の学習とはどういうものなのか不安を感じる。(40歳～49歳, 女性)
- 積極的な小中学校での生涯教育の為に学校開放講座の増設。講師について、専門分野を学び又は資格などをもった人材の確保をする為に分野ごとに(講師認定の)条件を提示しクリアしている場合の人材登録(大会、コンクール等の受賞、院卒、職歴等)基準を作る。現在の家庭教育学習のあり方の見直し。(40歳～49歳, 女性)
- 高齢者が活躍できる場の工夫。仕事等で培った知識が生かされると良い。(60歳～69歳, 女性)
- 子ども達が安心して勉強できて遊べる町づくり。市役所がきれいになっても嬉しくないです。その市役所に子供も出入りできるようなスペースを作ったらよいと思います。小さい頃から市に興味をもてるような町づくりをすれば大人になって支えてくれると思います。(20歳未満, 女性)
- 学習や活動を主催して広報宣伝に力をいれるべきだと思います。(60歳～69歳, 男性)
- 趣味やボランティアに関する活動をしたいと思っても、初めての人にとってはすでに出来上がっているサークル等に入るのは中々踏み切れないものがあります。市の主催で1日または短期の講座などを沢山用意していただけると参加しやすいと思います。(50歳～59歳, 女性)
- 情報開示、発信元を増やす (40歳～49歳, 女性)
- 町全体を巻き込むようなプロジェクトなどに積極的に協力態勢を作る。ふじみ野市にある学習や趣味の活動が出来る場所を上手にPRしていく(チラシなど)。発表活動も広報をしっかり行う。ふじみ野市広報誌をもっと魅力的にする (30歳～39歳, 女性)
- 市民からの意見を聞く機会を設ける (40歳～49歳, 男性)
- 希望としては楽器のワークショップを開いて欲しい。楽しめる体操やダンス et c (60歳～69歳, 女性)
- 語学学習をする事が出来る講習がもっと充実しているといいです。(30歳～39歳, 女性)

- 生涯学習をしやすくするためにそのための学費、費用を学習者に対し給付型の奨学金制度を取り入れる。資格が取得できる講座を取り入れる→市が主体となって。中学生が全員進学できるような(公立高校など)無料の授業を作る。例:中三勉強会(20歳未満, 男性)
- 活動施設の提供→できれば無料。有料でもなるべく定額にし、参加者の負担を少なく。リーダーの活動費(活動の為に交通費や通信費、コピーなど最低必要なもの)の助成。PR→行政が学習や活動のPRをする為の拠点を作りそこに行けば市内(出来れば県内)も生涯学習グループの情報が全て分かり、各々の活動内容を詳しく市民が知る事が出来れば希望者が選びやすいと思う。(具体的には、作品や活動写真など)(40歳~49歳, 女性)
- スポーツが沢山出来るように大きな体育館が必要です。特に若い人に運動の場を!(60歳~69歳, 女性)
- 子育て世代をもっと実態に沿って支援してほしい。子育てをしている世代が生涯学習に参画しやすくすることで子供への生涯学習の啓発にもなる。(30歳~39歳, 女性)
- より多くの方が興味をもって活動に取り組めるよう内容、時間等が充実していることが必要だと思う。(50歳~59歳, 女性)
- 民間のカルチャースクール等は様々な興味深い内容の講座を提供していますが受講料が高いものばかりです。行政が金銭的な面でのサポートをして下さればより多くの方が積極的に個々の知識、能力を高める努力をするのではないのでしょうか?(50歳~59歳, 女性)
- 高齢化社会になり高齢者がいきいきと健康に過ごすためには外へ出てボランティア活動が大切です。(年齢不明, 性別不明)
- ふじみ野市の地域の人達の交流を深める。活動する情報や支援が少なすぎる。(70歳~79歳, 男性)
- 各自治会の組織の構成は一般的には常連役員と輪番班長等で構成されており、高齢化が懸念されます。自治会組織の活性化対策として趣味や運動等のクラブ活動を奨励し、各クラブの部長等を役員に加えるなどして自治会の活性化をはかる事も必要と思います。(70歳~79歳, 男性)
- 日常生活が手いっぱいでは学習も活動も出来ない所以市民の生活が安定することが第一だと思います。その上で様々な取り組みや制度を求める人に届くようにPRする。(30歳~39歳, 女性)
- 幼児を育てている状態では、自身の学習や活動といったものに手が回らないというのが正直な所です。子の預け先や、子と一緒に参加できる活動が増えてくれたらいいのですが…(30歳~39歳, 女性)
- 市民の学習の現場に赴き、実態を把握する事(20歳~29歳, 女性)
- 場を設け、声掛けを行う。(広報等)子育て世代が私の周辺には多いので、その間子育てを遊ばせられる環境作り等。イトーヨーカドーやイオンなど大きな商業施設への協力等(30歳~39歳, 女性)

- 何かしらの報酬を設ける（20歳～29歳，女性）
- グループで活動しようと思っても活動場所が近くにない。ふじみ野駅近辺でレンタルスペースがあると車のない子連れには助かる。又、ふじみ野駅からフクトピアや大井支所行のバスがあれば市の講座も行きやすい。（30歳～39歳，女性）
- 子供がもっと一生懸命になれるようなサークルや活動をする為に場所の提供や、イベントを実施するべきだと思う。子供の頃に、一生懸命になるということが経験できる場所を作ってあげて欲しい。（20歳～29歳，女性）
- 生涯学習について知っている人があまりいないような気がします。まずはそこからではないかと思います。又、強制的に参加させるような仕組みではなく、人々がメリットを感じられるようなものと良いです。（30歳～39歳，女性）
- 市の広報に生涯学習の状況や活動を詳しく載せると、市民により伝わると思います。（30歳～39歳，男性）
- 多種多様な媒体、広いネットワークを利用して、とにかく大々的に情報を広め、その際は学習の活動の内容、メリット、デメリットを含めて細かく市民に認知させる事が大切だと思う。又、それら学習、活動を活性化させるにおいて指導者などの人材の確保、それに伴う話題性、学習や活動の成果が実行者以外の市民へフィードバックされやすい様子、ネットワーク、雰囲気作り。（20歳～29歳，男性）
- 研修会や講座を行う事（40歳～49歳，女性）
- 平日日中は働いている為、市の主催イベントや講習などは開催日時が合わないな…と思い込んでいてあまり広報誌など目を通していなかった。（実は土曜や祝日開催のものもあったのですね…）。夏の子供向けイベントや体験教室みたいなものもとても楽しそうだけど、夏休みだからと平日ばかりなので、自分の子供を連れて行ってあげられず申し訳ないな…と感じていました。ふじみ野市に転入して9年目ですが、子供が出来るまで地域と関わる機会もなく興味がなかったので、まだ街への愛着が湧いていない。子育てを通してはじめて行政のサービスを知るようになった。（それまでは広報誌やポスターなどの告知を見ることもしなかった）勝手なイメージですが、シニア向け、内容があまり魅力的ではないと期待していなかったのだと思います。（40歳～49歳，女性）
- 国際交流に興味を持っているので、駅前で催しがあると話し掛けやすいし、加入しやすいかなと思います。（20歳～29歳，女性）
- 夜間でも使用できる場所の提供（80歳以上，女性）
- ボランティア活動に対する社会的評価を高める（30歳～39歳，男性）
- 積極的な情報発信に力を入れる（60歳～69歳，女性）

- 学習から応用までのプロセスを作る。（応用→活用できる環境に身をおき、実際に応用する）。経済的負担をなくす。図書館等で学習分野における本を増やす（少ないと思う）。図書館の開館時間を延ばす（20歳～29歳，女性）

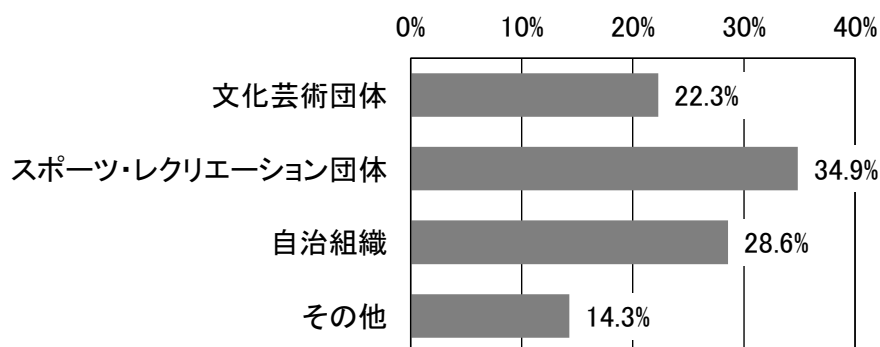
- すぐに情報が得られるようにツイッターなどももっと使ってたくさんの方が知れると思います。(20歳～29歳, 女性)
- 広報に、情報を載せていく。色んな学習や活動の場があっても、役場に電話したり、役場に行かなくては情報を得られない環境では、「これがしたい!」と積極的に希望している人しか集まらないと思う。あまり考えていなかった人も、ダイレクトメールや広報などで何気なく活動の情報を目にする機会があれば、「こんな事やっているんだ! 行って見ようかな!」と思う人がいると思う。(40歳～49歳, 女性)
- 任意団体、市の団体など各々の個性を活かして伸び～と運営を図る事が望ましいと思う。市が見守る、といったことが重要と思う。(80歳以上, 男性)
- 学習や活動の情報が得られやすいこと。学習や活動の時間が幅広い事(30歳～39歳, 女性)
- 教室、会議室の貸し出し(20歳～29歳, 男性)
- 行政がどのような支援をしているのかもあまり分かっていません。特に若い世代は多いと思うのでまずはそこからではないかと思います。(40歳～49歳, 男性)
- 子供達が伸び伸びと外で遊ぶ事が出来る公園をもう少し増やすべきだと思います。そういった場を作り、かかる公園で市のボランティア活動をする事を呼びかければ、子供達もボランティア活動に興味を持ってくれるのではないかと思います。高齢者の方と子供達の交流の場ともなり互いの理解も深まるのではないのでしょうか。(20歳未満, 女性)
- リーダーになる方には、上に立つ人物らしく研修などあれば良いと思う。もちろん穏やかな方もおり、その方々に救われました。(40歳～49歳, 女性)
- 子供や、若者が積極的に参加しやすい地域の活動を増やす。(20歳未満, 男性)
- 地域同士でのかかわりが、出来るような機会や場所を提供できるように力を入れるべきだと思う。(20歳未満, 女性)
- 場所の提供(20歳～29歳, 男性)
- 市内を中心に活動する団体やサークル等を自治体がリスト作成等で管理し、新しく始めようとする人のための案内窓口となる仕組み作り。(20歳～29歳, 男性)
- 町内の行事はお年寄りが中心で若い人は参加しにくい。無料で資格が取れるように講座など行ってほしい。子育て支援を増やしてほしい。(40歳～49歳, 女性)
- 広報誌を見ていてとても選択肢の幅が狭いように思います。生涯学習における新規項目の開拓と誰もが参加しやすくするための金銭的な助成が必要ではないのでしょうか。(30歳～39歳, 女性)
- 行政が主催する講座や講演会等の充実。(20歳～29歳, 男性)
- 学習や活動したい人が安易にアクセスしやすい、環境作り。(60歳～69歳, 男性)
- 部門、部門での指導者の育成、並びに市報、掲示板等でのPR(すでに行っていると思いますが)学習、活動等のPRを行い啓蒙して頂ければ良いと思います。(70歳～79歳, 女性)

- 共通の趣味のネットワーク作り。(70歳～79歳, 男性)
- 窓口をつくる。ツイッターアカウントつくって意見交換をバンバン随時もらうシステム。(40歳～49歳, 女性)
- まずボランティアと生涯学習は別のものではないのでしょうか？地域で開業しているスポーツインストラクターや料理人、IT関係、カフェ店の方などを招いて講座を開いたり、など魅力的だと思います。ふじみ野の良さをアピールしたり、実感出来ることが大切なのでは？ふじみ野を巣立っていった若い方々も多いと思います。そういった方々で教えて頂ける方がいたら声をかけるのもよいかと思います。(50歳～59歳, 女性)
- PRの仕方がもっとわかりやすいほうが良い。例えば登録制によるDMなども活用も…。今はどのような学習メニューがあるのかわかりにくい。(知らない) (60歳～69歳, 男性)
- 若年層が住みやすく、参加しやすい地域の活動内容にしてほしい。市の施設でやっている教室などはお年寄りばかりでつまらない。参加したいと思えない。SNSやふじみんを上手に使って若年層に興味をもってもらうべき。市の若い職員を中心に考えていくべきだと思う。(30歳～39歳, 女性)
- 子供の教育。核家族の方々が増えて年寄りとの接触が無いと感じる。生まれた時から近所の年寄りとも顔を合わせていれば働く母親達の助けになりやすいと思う。実家暮らしの人は良いが一人でも背負ってる方もいると思う。(50歳～59歳, 女性)
- 専用のホームページを開設する。もしくはふじみ野市のホームページからわかりやすく表示させる。(30歳～39歳, 女性)
- 広報の充実。具体的なボランティア活動を継続すること。庭木を緑豊かなポイントにすえてほしい。余りに落葉クレマーが多すぎ、せっかくの並木がガイコツ状態で街の緑の景色が哀しすぎる。オープンガーデンが散見できる街をクリエイトしてほしい。(60歳～69歳, 男性)
- 町内会など入会してもメリットがない。人と人とのつながりをもつことがだいじだと思います。町内会の中でも女子会ができるといいと思います。町内会の会費の中年50円でもその予算でもつかえてふれあいをもつことができればと…つづけていくことのだいじさです。(50歳～59歳, 女性)
- 共働き世帯が多いので自分の学習や地域の活動をする時間がある力のある年代がないと思う。子育てはしにくい環境である。自分の生活で精一杯。(30歳～39歳, 女性)

II 団体アンケート

問1 団体の活動種目を教えてください(○はひとつ)

団体の活動種目では、「スポーツ・レクリエーション団体」が34.9%と最も高く、次いで「自治組織」が28.6%、「文化芸術団体」が22.3%となっています。



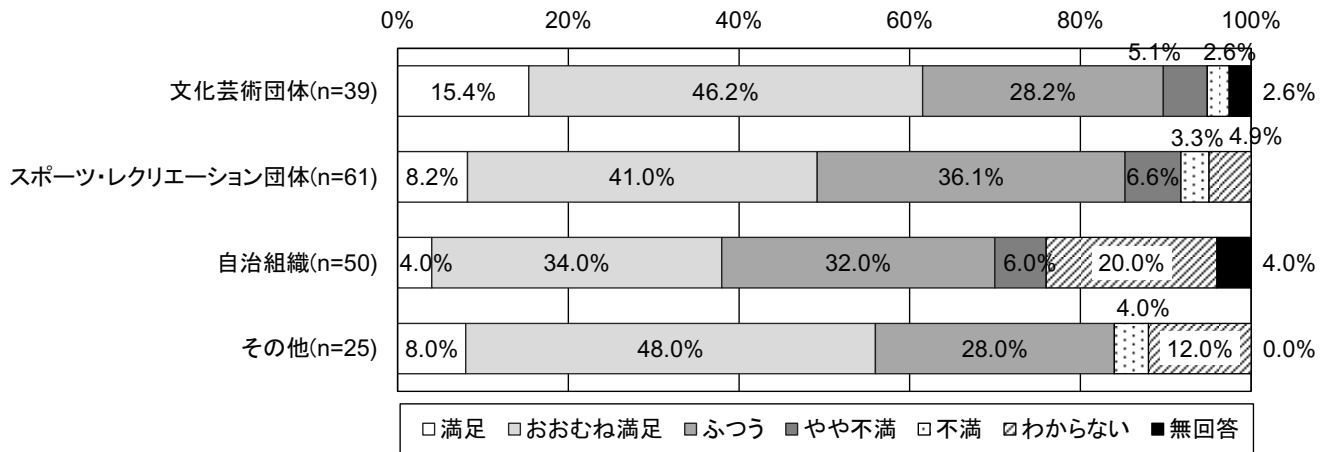
項目	度数	構成比
文化芸術団体	39	22.3%
スポーツ・レクリエーション団体	61	34.9%
自治組織	50	28.6%
その他	25	14.3%
合計	175	100.0%

「4. その他」に記載されたご意見

- P T A
- 点訳
- 環境活動や農業体験。
- 障害者（児）団体
- 音楽活動
- サークル

問2 ふじみ野市が推進してきた学習支援や活動支援について、これまでの取り組みをどう評価しますか。(〇はひとつ)

市の取り組みについては、「文化芸術団体」の「満足」「おおむね満足」を合わせると61.6%と最も高く、次いで「スポーツ・レクリエーション団体」が49.2%、「自治組織」が38.0%となっています。



項目	満足	おおむね満足	ふつう	やや不満	不満	わからない	無回答	合計
文化芸術団体	6	18	11	2	1	0	1	39
スポーツ・レクリエーション団体	5	25	22	4	2	3	0	61
自治組織	2	17	16	3	0	10	2	50
その他	2	12	7	0	1	3	0	25
合計	15	72	56	9	4	16	3	175

項目(構成比)	満足	おおむね満足	ふつう	やや不満	不満	わからない	無回答	合計
文化芸術団体(n=39)	15.4%	46.2%	28.2%	5.1%	2.6%	0.0%	2.6%	100.0%
スポーツ・レクリエーション団体(n=61)	8.2%	41.0%	36.1%	6.6%	3.3%	4.9%	0.0%	100.0%
自治組織(n=50)	4.0%	34.0%	32.0%	6.0%	0.0%	20.0%	4.0%	100.0%
その他(n=25)	8.0%	48.0%	28.0%	0.0%	4.0%	12.0%	0.0%	100.0%
合計	8.6%	41.1%	32.0%	5.1%	2.3%	9.1%	1.7%	100.0%

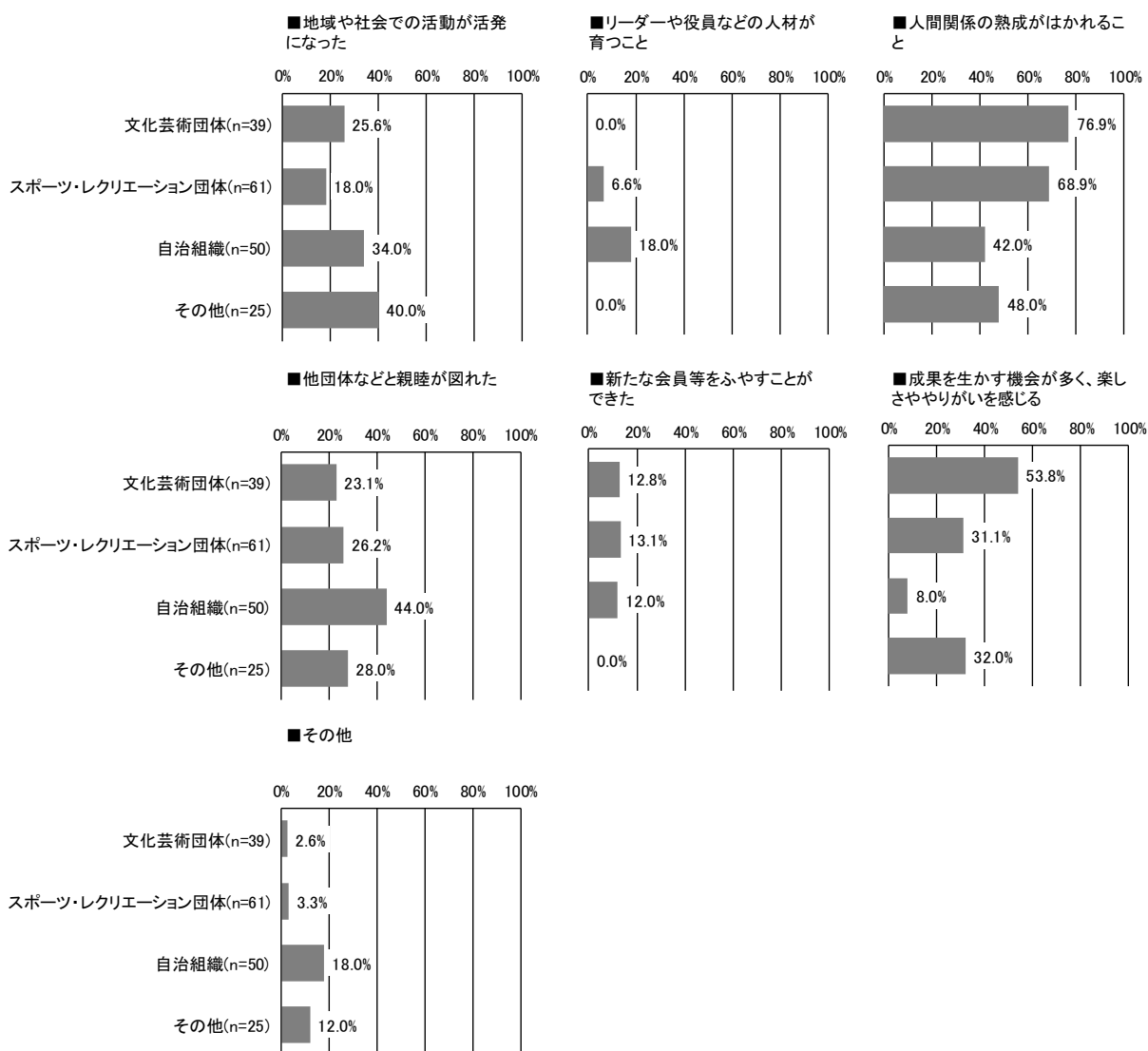
**「4. やや不満、5. 不満、6. 分からない」を回答した方
不満な点についてご記入ください。**

- 活動内容を理解していなかった。
- 生涯学習の実態が把握できていない。
- 市が推進してきた学習支援や活動支援はどのようなものかの事業内容の説明がなければ判断できない。
- 開催日、時間が夜間しかない住民には参加できない。夜間の開催が望まれる。
- 学んだことを生かせる体制ができていない。(フォローがなされていない。)
- 現在仕事をしている為、関わる機会が少なく実状が把握できていない。
- 直接支援や活動支援を受けていないので評価できない。
- 参加者をどのような方法で増やすかを考えてほしい。(参加者が少ない。)
- 公民館へのアクセスが不便。自転車に乗れない高齢者にはバス便を増やしてほしい。
- 太極拳をするホールが1つしかなく、のびのびとできない。
- 日本の伝統文化であるものに対してもっと理解がほしい。
- 支援なんて何もされていないと思われます。しているのか全く分からない。推進???いつ???
- 上記の様な活動をしているが、市や教育委員会からの支援など全くないし、そうした姿勢を感じない。
- 質が悪い、内容が薄い(スポーツに関してしか体験したことはありません。)
- 活動場所を確保できない。

問3 貴団体において活動をしていてよかった点をお聞かせください(複数選択可)

活動をしていてよかった点については、すべての団体で「人間関係の熟成がはかれること」が最も高くなっています。

また、「成果を生かす機会が多く、楽しさややりがいを感じる」では、「文化芸術団体」、「スポーツ・レクリエーション団体」、「他団体などと親睦が図れた」では「自治組織」が高くなっています。



項目	地域や社会での活動が活発になった	リーダーや役員などの人材が育つこと	人間関係の熟成がはかれること	他団体などと親睦が図れた	新たな会員等をふやすことができた	多く、楽しさややりがいを感じる	成果を生かす機会が多い	その他	無回答	回答者数
文化芸術団体	10	0	30	9	5	21	1	1	39	
スポーツ・レクリエーション団体	11	4	42	16	8	19	2	1	61	
自治組織	17	9	21	22	6	4	9	6	50	
その他	10	0	12	7	0	8	3	0	25	
合計	48	13	105	54	19	52	15	8	175	

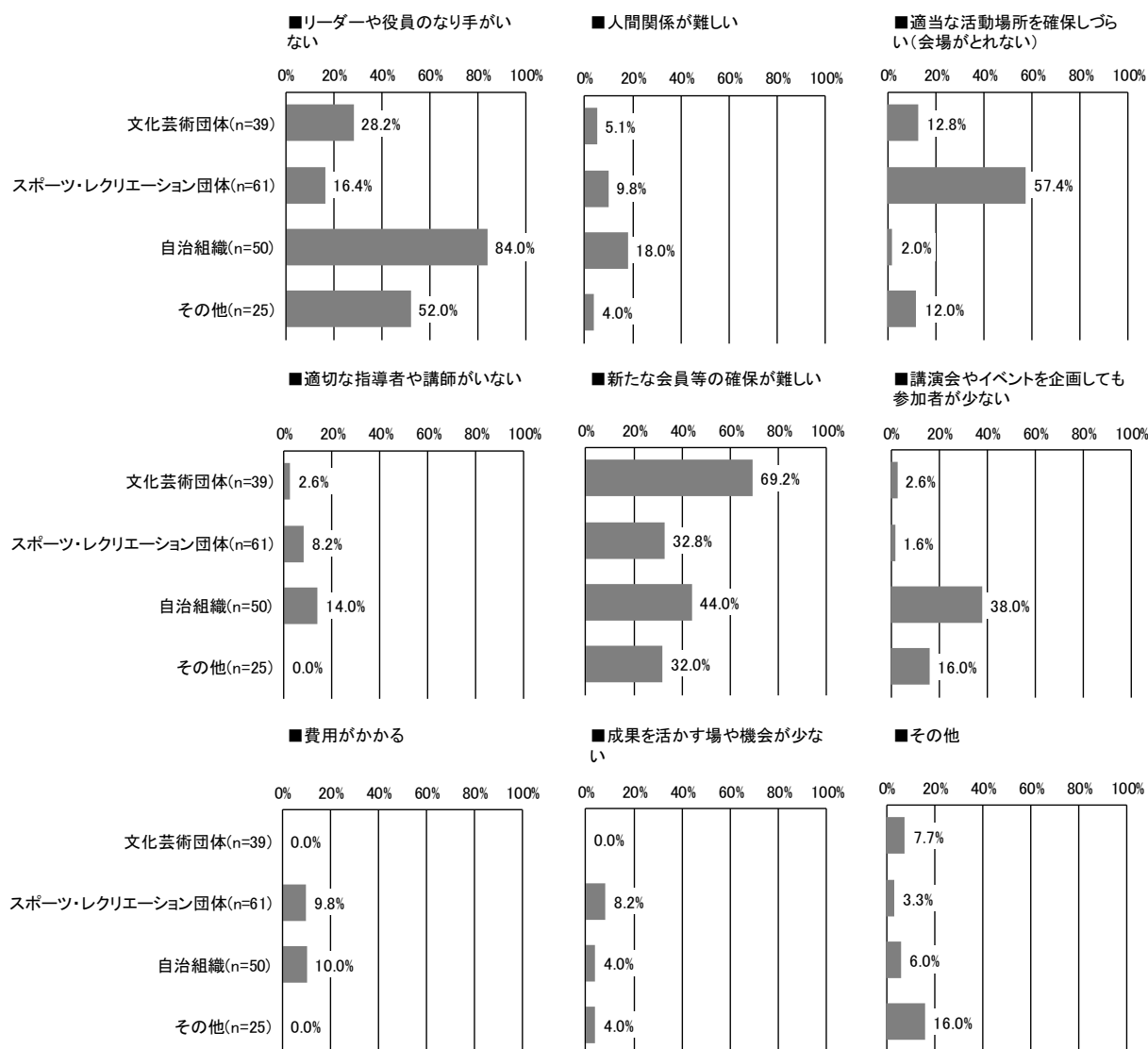
項目(構成比)	地域や社会での活動が活発になった	リーダーや役員などの人材が育つこと	人間関係の熟成がはかれること	他団体などと親睦が図れた	新たな会員等をふやすことができた	多く、楽しさややりがいを感じる	成果を生かす機会が多い	その他	無回答	回答者数
文化芸術団体(n=39)	25.6%	0.0%	76.9%	23.1%	12.8%	53.8%	2.6%	2.6%		
スポーツ・レクリエーション団体(n=61)	18.0%	6.6%	68.9%	26.2%	13.1%	31.1%	3.3%	1.6%		
自治組織(n=50)	34.0%	18.0%	42.0%	44.0%	12.0%	8.0%	18.0%	12.0%		
その他(n=25)	40.0%	0.0%	48.0%	28.0%	0.0%	32.0%	12.0%	0.0%		
合計	27.4%	7.4%	60.0%	30.9%	10.9%	29.7%	8.6%	4.6%		

「7. その他」に記載されたご意見

- 会員間の連絡、親睦の為
- 地域間の交流が少しずつでも広がっていると感じる。
- よかった点は特になし。
- 健康向上のため。
- 楽しく活動できている。
- 市内の緑や環境を守る一助となっている事や環境に関心をもつ人とつながり、学んだり、体験したりと多様な活動ができている。
- 退職後の男性として、友達ができた。
- 今までスポーツ機会がなかった人達に場がくれた。

問4 貴団体において抱えている問題点をお聞かせください(複数選択可)

各団体が抱えている問題点は、「文化芸術団体」で「新たな会員等の確保が難しい」が44.0%と最も高く、「スポーツ・レクリエーション団体」では、「適切な活動場所を確保しづらい(会場がとれない)」、「自治組織」では、「リーダーや役員のなり手がいない」がそれぞれ高くなっています。



項目	リーダーや役員のなり手がいない	人間関係が難しい	とれづら(会場が確保しない)	適切な活動場所を確保しない	適切な指導者や講師がいない	新たな会員等の確保が難しい	少ない企画参加者が少ない	講演会やイベントを企画しても参加者が少ない	費用がかかる	成果を活かす場や機会が少ない	その他	無回答	回答者数
文化芸術団体	11	2	5	1	27	1	0	0	3	4	39		
スポーツ・レクリエーション団体	10	6	35	5	20	1	6	5	2	6	61		
自治組織	42	9	1	7	22	19	5	2	3	1	50		
その他	13	1	3	0	8	4	0	1	4	0	25		
合計	76	18	44	13	77	25	11	8	12	11	175		

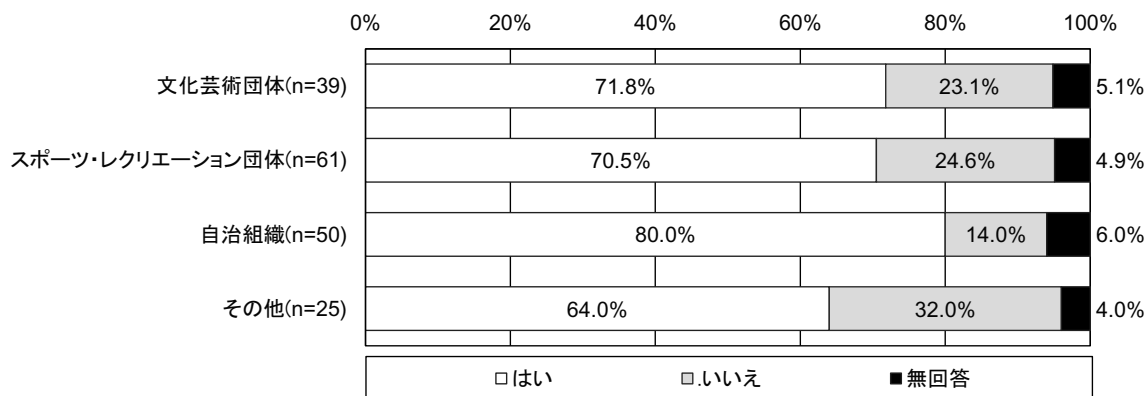
項目(構成比)	リーダーや役員のなり手がいない	人間関係が難しい	とれづら(会場が確保しない)	適切な活動場所を確保しない	適切な指導者や講師がいない	新たな会員等の確保が難しい	少ない企画参加者が少ない	講演会やイベントを企画しても参加者が少ない	費用がかかる	成果を活かす場や機会が少ない	その他	無回答	回答者数
文化芸術団体(n=39)	28.2%	5.1%	12.8%	2.6%	69.2%	2.6%	0.0%	0.0%	7.7%	10.3%			
スポーツ・レクリエーション団体(n=61)	16.4%	9.8%	57.4%	8.2%	32.8%	1.6%	9.8%	8.2%	3.3%	9.8%			
自治組織(n=50)	84.0%	18.0%	2.0%	14.0%	44.0%	38.0%	10.0%	4.0%	6.0%	2.0%			
その他(n=25)	52.0%	4.0%	12.0%	0.0%	32.0%	16.0%	0.0%	4.0%	16.0%	0.0%			
合計	43.4%	10.3%	25.1%	7.4%	44.0%	14.3%	6.3%	4.6%	6.9%	6.3%			

「9. その他」に記載されたご意見

- P T Aに理解を求め、ふじみ野市の教育が目指すことに対する意識づけがむずかしい。
- 参加者が少なく、今後の活動に不安を感じる。
- 役員のなり手がいない事。
- 会員が増えない。
- 団の備品を置いておく場所がない、少ない。ロッカー小さい。
- 担当者が会場の確保に苦勞をしている。
- 小中学校が対象だが、会員募集に行政の協力が得られない。活動を支援する仕組みや意識が低い。
- 新たな会員を募集しようとしても、体育館は日時がパソコンで決まるの（公共施設予約システム）で募集案内が書けない。
- 全くなし。

問5 貴団体が活動をしていくにあたって、一般市民や他団体との積極的な交流を望みますか？

団体の活動をしていくにあたって、一般市民や他団体との積極的な交流を望むかについては、すべての団体で「はい」が高くなっています。

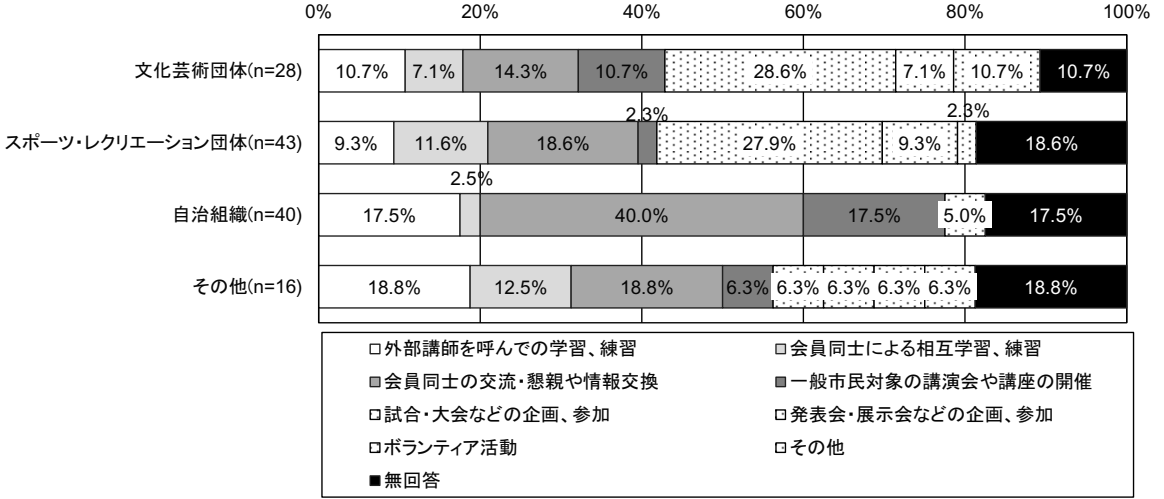


項目	はい	いいえ	無回答	合計
文化芸術団体	28	9	2	39
スポーツ・レクリエーション団体	43	15	3	61
自治組織	40	7	3	50
その他	16	8	1	25
合計	127	39	9	175

項目(構成比)	はい	いいえ	無回答	合計
文化芸術団体(n=39)	71.8%	23.1%	5.1%	100.0%
スポーツ・レクリエーション団体(n=61)	70.5%	24.6%	4.9%	100.0%
自治組織(n=50)	80.0%	14.0%	6.0%	100.0%
その他(n=25)	64.0%	32.0%	4.0%	100.0%
合計	72.6%	22.3%	5.1%	100.0%

「はい」と回答した方 どのような内容を望みますか？(○はひとつ)

どのような内容を望むかについては、「会員同士の交流・懇親や情報交換」が24.4%と最も高く、次いで「外部講師を呼んでの学習、練習」が13.4%となっています。



項目	外部講師を呼んでの学習、練習	会員同士の交流・懇親や情報交換	試合・大会などの企画、参加	ボランティア活動	その他	無回答	回答者数	非該当	合計
文化芸術団体	3	2	4	3	0	8	2	3	39
スポーツ・レクリエーション団体	4	5	8	1	12	4	0	1	61
自治組織	7	1	16	7	0	0	2	0	50
その他	3	2	3	1	1	1	1	3	25
合計	17	10	31	12	13	13	5	5	175

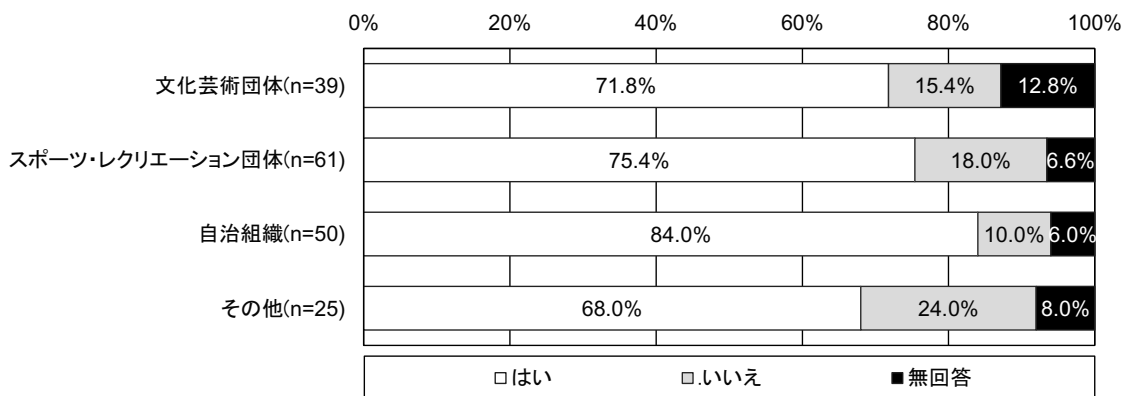
項目(構成比)	外部講師を呼んでの学習、練習	会員同士の交流・懇親や情報交換	試合・大会などの企画、参加	ボランティア活動	その他	無回答	回答者数	非該当	合計
文化芸術団体(n=28)	10.7%	7.1%	14.3%	10.7%	0.0%	28.6%	7.1%	10.7%	100.0%
スポーツ・レクリエーション団体(n=43)	9.3%	11.6%	18.6%	2.3%	27.9%	9.3%	0.0%	2.3%	100.0%
自治組織(n=40)	17.5%	2.5%	40.0%	17.5%	0.0%	0.0%	5.0%	0.0%	100.0%
その他(n=16)	18.8%	12.5%	18.8%	6.3%	6.3%	6.3%	6.3%	6.3%	100.0%
合計	13.4%	7.9%	24.4%	9.4%	10.2%	10.2%	3.9%	3.9%	100.0%

「8. その他」に記載されたご意見

- 体験会等を実施するのが望ましいが、会員が増えると実施上無理が生じるので難しい問題です。
- 交流することで活動を知ってもらえるし、参加する人の発掘につながる。持続可能な活動につながる1つとなるのではと考える。
- コンサート

問6 貴団体の学びや活動の成果を、地域社会に生かしていきたいと思いませんか。
(○はひとつ)

学びや活動の成果を、地域社会に生かしていきたいかについては、すべての団体に「はい」が高くなっています。

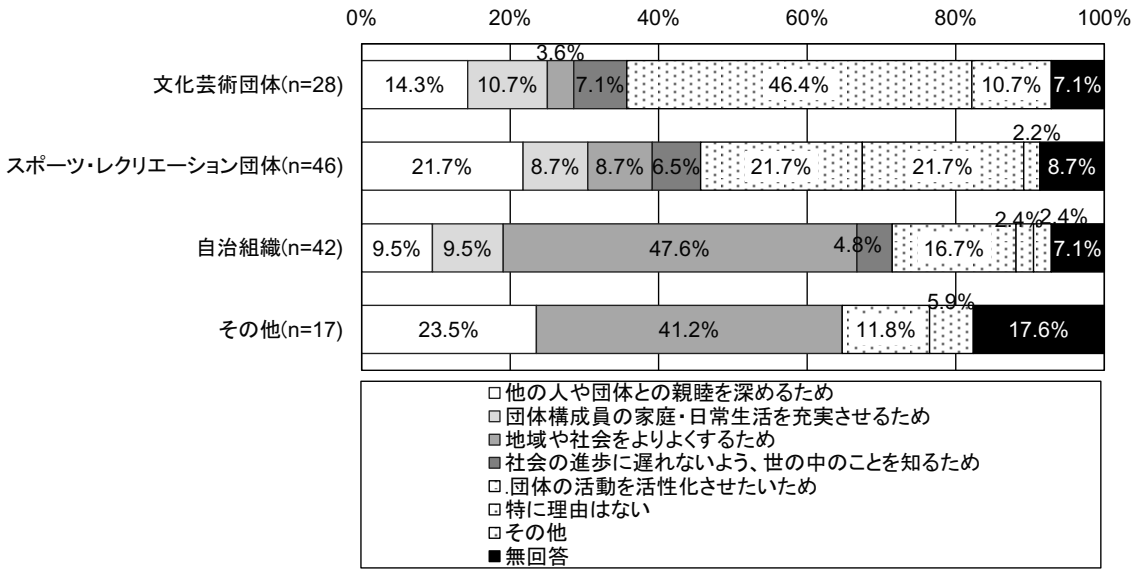


項目	はい	いいえ	無回答	合計
文化芸術団体	28	6	5	39
スポーツ・レクリエーション団体	46	11	4	61
自治組織	42	5	3	50
その他	17	6	2	25
合計	133	28	14	175

項目(構成比)	はい	いいえ	無回答	合計
文化芸術団体(n=39)	71.8%	15.4%	12.8%	100.0%
スポーツ・レクリエーション団体(n=61)	75.4%	18.0%	6.6%	100.0%
自治組織(n=50)	84.0%	10.0%	6.0%	100.0%
その他(n=25)	68.0%	24.0%	8.0%	100.0%
合計	76.0%	16.0%	8.0%	100.0%

「はい」と回答した方 生かしたいと思う主な理由は何ですか。

生かしたいと思う主な理由では、「自治組織」の「地域や社会をよりよくするため」、「文化芸術団体」では、「団体の活動を活性化させたいため」が最も高くなっています。



項目	親睦を深めるため	他の人や団体との	実さ・日常を充実	家庭構成員の生活	団体構成員の生活	よくする社会をより	地域や社会をより	のこをう、世の中	ないの進歩に遅れ	社会の進歩に遅れ	性・団体の活動を活	化させたい活動を活	特に理由はない	その他	無回答	回答者数	非該当	合計
文化芸術団体	4	3	1	2	13	3	0	2	28	11	39							
スポーツ・レクリエーション団体	10	4	4	3	10	10	1	4	46	15	61							
自治組織	4	4	20	2	7	1	1	3	42	8	50							
その他	4	0	7	0	2	0	1	3	17	8	25							
合計	22	11	32	7	32	14	3	12	133	42	175							

項目(構成比)	親睦を深めるため	他の人や団体との	実さ・日常を充実	家庭構成員の生活	団体構成員の生活	よくする社会をより	地域や社会をより	のこをう、世の中	ないの進歩に遅れ	社会の進歩に遅れ	性・団体の活動を活	化させたい活動を活	特に理由はない	その他	無回答	回答者数	非該当	合計
文化芸術団体(n=28)	14.3%	10.7%	3.6%	7.1%	46.4%	10.7%	0.0%	7.1%	100.0%									
スポーツ・レクリエーション団体(n=46)	21.7%	8.7%	8.7%	6.5%	21.7%	21.7%	2.2%	8.7%	100.0%									
自治組織(n=42)	9.5%	9.5%	47.6%	4.8%	16.7%	2.4%	2.4%	7.1%	100.0%									
その他(n=17)	23.5%	0.0%	41.2%	0.0%	11.8%	0.0%	5.9%	17.6%	100.0%									
合計	16.5%	8.3%	24.1%	5.3%	24.1%	10.5%	2.3%	9.0%	100.0%									

「7. その他」に記載されたご意見

- 生かしたいと思うが、難しさを感じる。
- 体育協会や公民館活動に参加することで生かしていきたい。

「いいえ」と回答した方 その理由は何ですか。

理由については、スポーツ・レクリエーション団体の「興味がない」、「わずらわしい」が同数の3件、「文化芸術団体」では「一緒に活動する仲間がいない」が2件となっています。

項目	会 勤 務 な ど の 都 合 で 機 が 設 け ら れ な い	い 参 加 方 法 が わ か ら な い	時 間 が な い	興 味 が な い	い 経 済 的 な 負 担 が 大 き い	な 家 族 の 理 解 が 得 ら れ な い	が 一 緒 に 活 動 す る 仲 間 が い な い	わ ず ら わ し い	そ の 他	無 回 答	回 答 者 数	非 該 当	合 計
文化芸術団体	0	0	1	0	0	0	2	1	1	1	6	33	39
スポーツ・レクリエーション団体	1	0	2	3	0	0	0	3	1	1	11	50	61
自治組織	1	1	1	1	0	0	0	0	1	0	5	45	50
その他	0	0	2	0	0	0	0	0	4	0	6	19	25
合計	2	1	6	4	0	0	2	4	7	2	28	147	175

項目(構成比)	会 勤 務 な ど の 都 合 で 機 が 設 け ら れ な い	い 参 加 方 法 が わ か ら な い	時 間 が な い	興 味 が な い	い 経 済 的 な 負 担 が 大 き い	な 家 族 の 理 解 が 得 ら れ な い	が 一 緒 に 活 動 す る 仲 間 が い な い	わ ず ら わ し い	そ の 他	無 回 答	回 答 者 数	非 該 当	合 計
文化芸術団体(n=6)	0.0%	0.0%	16.7%	0.0%	0.0%	0.0%	33.3%	16.7%	16.7%	16.7%	100.0%		
スポーツ・レクリエーション団体(n=11)	9.1%	0.0%	18.2%	27.3%	0.0%	0.0%	0.0%	27.3%	9.1%	9.1%	100.0%		
自治組織(n=5)	20.0%	20.0%	20.0%	20.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	20.0%	0.0%	100.0%		
その他(n=6)	0.0%	0.0%	33.3%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	66.7%	0.0%	100.0%		
合計	7.1%	3.6%	21.4%	14.3%	0.0%	0.0%	7.1%	14.3%	25.0%	7.1%	100.0%		

※回答数が少ないためグラフを省略します。

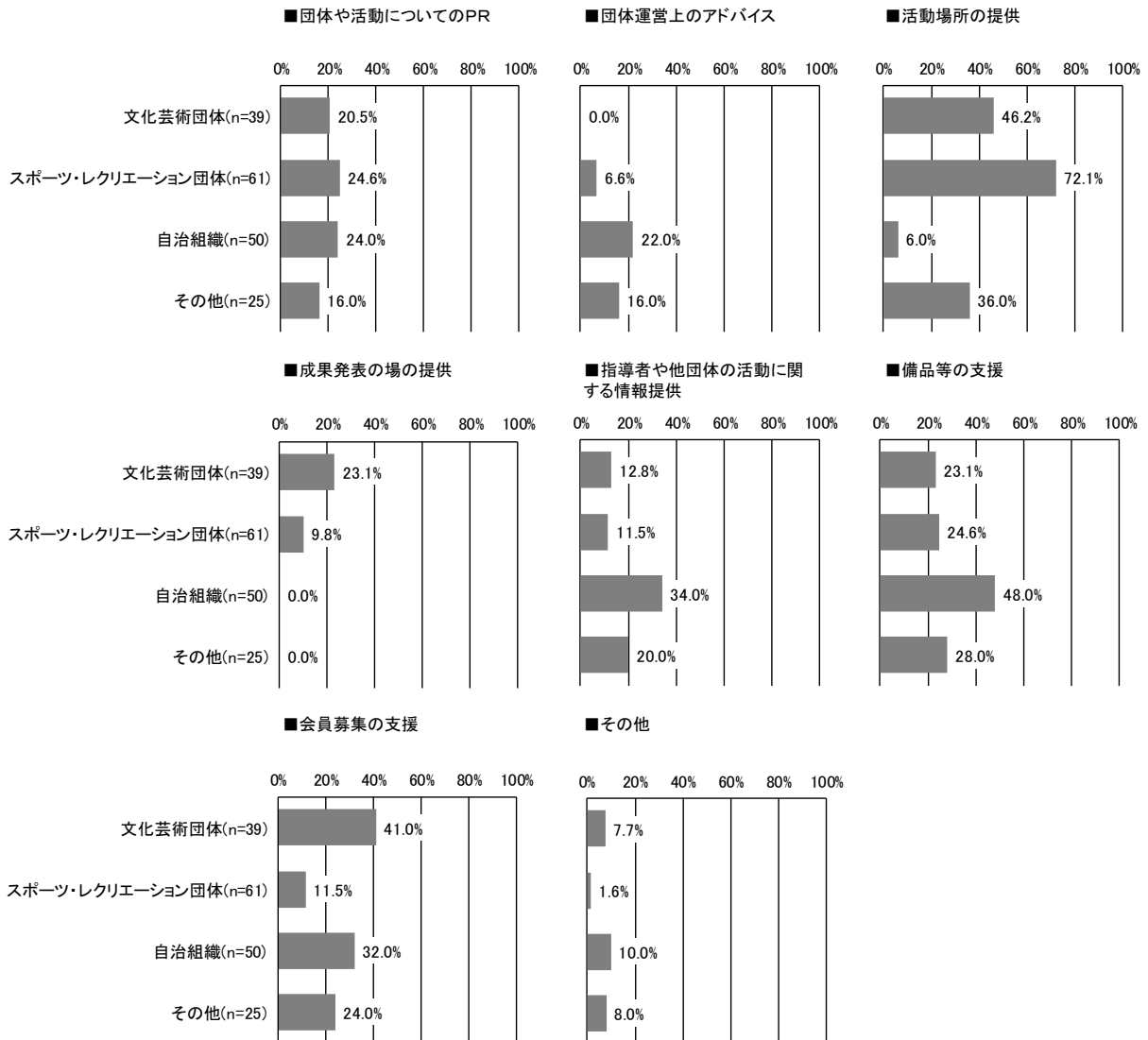
「9. その他」に記載されたご意見

- 理解、協力を得ることが難しい。
- 今の段階では、そこまでの必要性がない。
- 保護者を主体としているため。
- 内輪で活動して満足しているので、それ以上の輪を広げられません。
- 生かせるか分からない。
- 高齢の為。

問7 貴団体が活動をする上で、行政からどんな支援があったらよいと思いますか。
(〇はいくつでも)

行政からの支援については、「文化芸術団体」、「スポーツ・レクリエーション団体」での「活動場所の提供」が最も高くなっています。

また、「自治組織」では、「備品等の支援」が最も高くなっています。



「8. その他」に記載されたご意見

- 地域と連携する行事に対して、色々と貸出してほしい。
- 市街地でない自治会ですので新会員が望めない。(住宅増えない) 従って、個人負担金
が他組織より高い。(補助金要望)
- 行政があまり関わらない方が良い。自主的に自主性にまかせる方が良い。
- 経済的(金)支援。
- 補助金。
- 現状の町会運営費、事業運営費の補助を続けてもらいたい。
- 他施設(公民館・フクトピア)の展示会等の情報があれば嬉しい。現状、市報に市役所、
支所の展示予定情報がありますが、上福岡、西、大井中央の各公民館の横の情報がほし
い。施設利用申込み、端末機の取扱い方法が不親切。はじめて造った機器のため、ある
面仕方ないと分かっているが入力場所が点滅するとか、色が変わるとか、次はどこを扱
えば良いのか指示するような機能があればと思う。(ソフト改造となれば費用がかかるか
ら無理か) 機器更新の際は考慮して欲しい。
- ピアノ設置。
- 備品を置く場所の支援、広いスペースの置く場所がほしい。切実。(1団体1畳等)。公民
館じゃなくとも、市役所内、敷地一角にプレハブ等でも。
- 資金援助。
- ロックミシンの修理。

問8 その他、ふじみ野市の生涯学習の推進に関して、ご意見やご要望などがございましたら、ご自由にお書き下さい。

※アンケート票の最後に設置した自由意見欄の主な回答をみると次のとおりとなっています。自由意見は、以下のとおり一部を割愛して掲載しています。

- 回答の意味が分かりにくいもの、文章がおかしいもの、判読ができないものは除いています。
- 特定の個人や団体等が記載されているいわゆる個人情報に関するものは除いています。
- 一部、こちらで現代仮名遣いやひらがなを漢字に修正、施設等を正式名称にするなど、明らかな間違いは修正している部分があります。
- なるべく今後の生きがい学習の推進や施設等に関し建設的な意見・要望を優先し、関連性の薄い意見などは除いています。

- 生涯学習の活用を前向きに検討してみたい。
- PTA活動を理解、協力して頂くためには、市の教育委員会と共に協力し、「共育」を目指していることを、市からもアピールしていただければと思います。単なる一つの学校だけのPTAという役割だけではなく、「地域の中の学校であり、PTAと地域が共育を目指す」ことを子どもたちのためという視点からみんなに説明、おたよりがあればと思います。
- PTAで活動する世代にとって、生涯学習へ参加する時間の余裕がないのが残念なことです。
- PTAのため、PTA連合会を含め、会員間の交流や学習、学校や生徒への支援が中心のため、生涯学習をメインに捉えた回答は現在つながりがないことから、回答が難しかったです。(PTA)
- 生涯学習といっても幅が広いので、年ごとにどこの項目をやっていくか決めて、そこを推進してゆくと良いかと思う。
- 高齢化が進む中で、70代、80代が自治会活動に無理があり、どうしても活動が低迷してしまい、地域のコミュニケーションに支障をきたす状況にあります。若手に自治会役員を要請するが、働いている関係で引受ける方がいない。行政の指導でどうあるべきかご指導願いたい。
- いくつかの団体から生涯学習について参加呼びかけがあり、1か所に集中するようにしたらどうか。(教育関係からとか、学校とかが有った。)
- 集会所の活用。中高年層に依るサークル活動を促したい。夏休み期間限定のこども教室を企画。

- 一市民としては、なかなか遠くへ行けなくなったので、住まいの近くの会場であれば出かけていきたいと思っていましたが、それぞれ大学であったり遠くだったりで参加できなかったのがほんとうです。
- 小・中学校の開放をもっと増やす方法を考えてほしい。
- 生涯学習と市民大学等、一貫した体系があるように思えない。又、費用をかけてエキスパートを育てるのなら、還元してもらうことが大切だと思う。
- 西地域方面に生涯活動の拠点となる施設（場所）が欲しい。団体活動に対する積極的な財政上の支援が欲しい。
- 高齢社会になり誰でも体力増強が計れるような会場が欲しい。特別な施設に行かないと、又は高額な費用がかかる施設はあるが安価で健康を兼ねてできる所がほしい。現在エコパ等に行けばいいのではないかと思うが特定の人達がグループ化してくると一般に気軽に行けない。
- 少年の主張 in ふじみ野での、小・中・高生の思いを聞くことができまして、大変感動致しました。このような企画は、青年壮年等の主張などもあったら良いのかなと思いました。
- 対象地域が広いと、一同に集まって活動する適当な場所がない。100人～150人程度の人が集まる施設があればよいと思う。
- 特に自治組織（町会・自治会）は、会員が高齢化して「学び」も無理です。ただ一つ「欲」だけはあるのです。ですから、もし学ばせたければ「金」で釣るしかありません。年金暮らしの人々は、「学び」もだめです。高齢化もそれに加わってくるのです。もちろん全員ではありません。（大部分の人です）私もつくづくそう思うようになりました。（これグチです）でも行政が私の様に成ったらダメですものネ。「ふじみ野市」には「若い人」「現役」の人がいます。その様な人々に「税金」を使ってください。自治組織はもうあまり「税金」を掛けない方がいいのかな…と思います。
- 20～40代をターゲットとした学習企画を多く取り入れてほしい。
- 事業の参加者を増やす為には、PRだけでなく、どうしたら参加出来るのか、なぜ参加者が増えないのかを分析しないと、やるだけの事業になります。皆で考える場が必要ではないでしょうか。1つの方法として支部社協などをもっと使ってはどうでしょうか？
- 年配の人たちはあまり生涯学習に興味がない、生涯学習の良さのPRが必要ではないか。（特に子育て世代の人たちは興味をもってもらいたいと思う）学習を推進してゆく中でむずかしいテーマでなく気楽に出席するような方向性が必要。
- 生涯学習のPRを町会長を通して依頼されてもほとんど効果が無いように思います。回覧しても全戸配布してもほとんど役に立っていないように感じます。
- 市内の人材を活用したいが、情報をもっと欲しい。高齢施設へのボランティアはあるが、自治会に出向いてくれる方は余りいないように感じる。

- 高齢化がすすみ役員のなり手が少ない。中年齢の方が少なく、次の役員との壁が今後できてくると思われる。
- 市外の方々から、大井中央公民館は発表や展示は多く、活動的だとほめられております。常に人々が集う場所であり、子供達も安心して居られる談話室の存在は理想的な公民館だと思います。大人の英会話などがあると良いと思います。
- 大井中央公民館大会議室のエアコン交換（夏場使用時）
- 公共予約システムの抽選申込時の制約緩和。
- 年に1回地域の団体との交流会を開く為の大きな場所（フクトピア、ゆめぼると）等が取れにくい。また日時を変更する場合再度使用料を納めなければならない所もあるので検討していただきたい。
- 最近伝統文化に対する認識がうすれて来たように思われます。
- 昨年10月にも似たようなアンケートがあったり、まめにアンケートをしているが、ただアンケートをとっているだけとしか思えない。全く推進するつもりがあるように思えず、アンケートとったからOKとなっているとしか思えない。せっかくのアンケートなので、しっかり反映して対応してもらいたい。アンケートとって終わりではなく、ちゃんと「推進」して下さい。やるつもりなら。やるつもりがないなら、こまめなアンケートはめんどろ〜手間だけなのでアンケートもやめましょう。意見求めて終わりにしないことを望みます。
- 行政運営がタテ割りで、つながらない。協力し合わない。関心持たない。自分の課(所)だけで仕事をしている。このやり方を変えない限り問題解決には遠い。市民にとっては、どこの課がやっているとかはあまり関係なく、問題、課題に関係するところ全てが担当であり、内部で連携や協議をするべきで、市民をタライ回しにしている、もの事は解決しないし、レベルUPにもつながらないと思う。生涯学習も、教育委員会や公民館だけの仕事や分野ではないはずで住民のニーズ（問題、議題）にいかに対応した学びをつくっていくのか、そのための連けいを役所内でどうするのか問われています。そうした広い視野で計画してってください。市民力も問われているが、職員の手も問われている事を認識してください。役に立たないなら委託で充分だよと言う声もよく聞きます。
- 2階の集会室か和室のカベに鏡をはってくださいと嬉しいです。よろしくお願い致します。
- ネットで「自分の好み、やりたい事で検索できる」ようにしてほしい。その際に、一つの団体名をクリックすると活動中の写真や会員のコメント等が見られるとよい。
- 施設利用申し込み手続きを簡単にしてほしい。
- 活動場所取りのシステムが難しい。ロッカーを上福岡公民館の様に通年使えるように是非してほしい。上福岡西公民館のロッカー入れかえ期間も活動はしているので、持ち帰りも大変。これは是非早急に改善してほしい。

- 活動場所の確保が困難であり、せっかくの活動成果を発揮、確かめる機会が少ない。
- 体育館で活動しているが予約が取れない。外の市はもっと立派な体育館がある。使用料が高いのでもう少し安く使えると助かります。